

# べつぷ



市長室弘報係

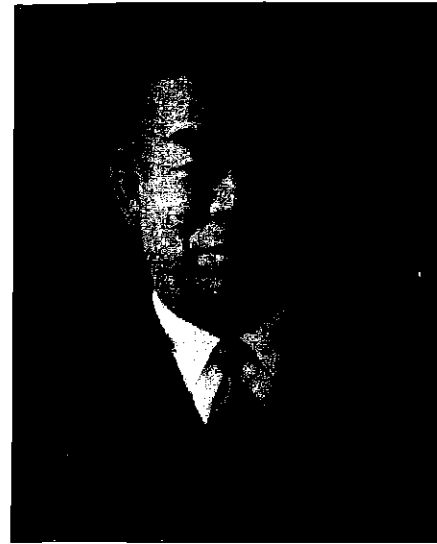
1957

市 勢 要 覽

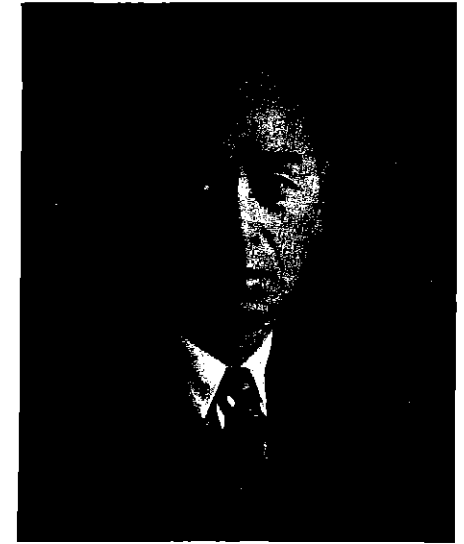
昭和 3 2 年 版



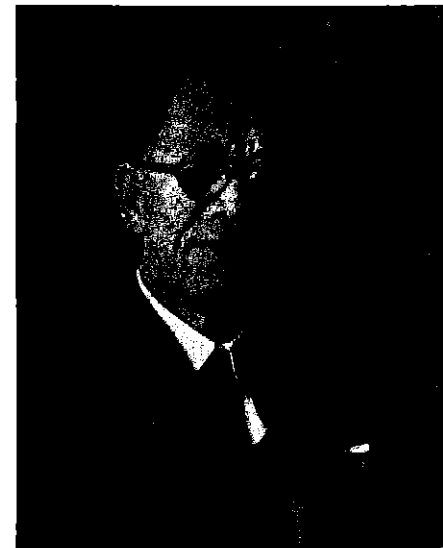
別 府 市



市長 荒金 啓治  
Keiji Arakane  
Mayor



助役 荒金 進  
Susumu Arakane  
Deputy Mayor



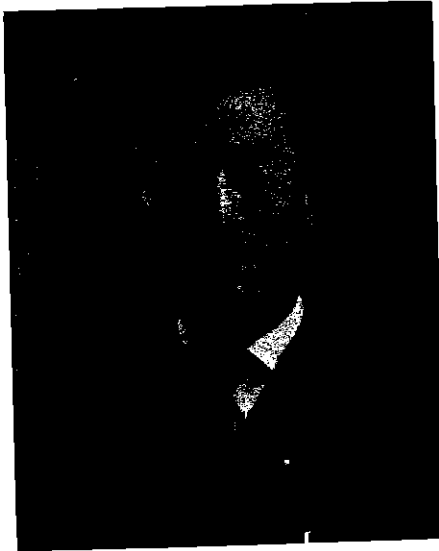
収入役 山田 耕平  
Kohei Yamada  
Treasurer

## ま え が き

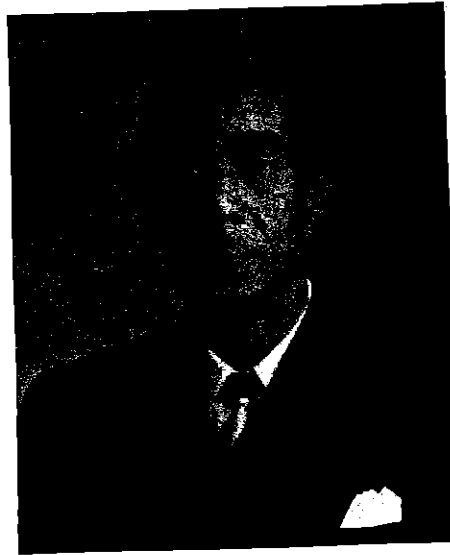
☆本要覧は別府市の概要を知る便に供するため諸官庁、会社、団体等の協力を得て主として昭和31年度の資料に基き集録したものであるがこれと異なるものについては調査期日を略記した。

☆本要覧が別府市勢に対し関心を持たれる各位の参考資料として少しでも役立てば洵に幸いである。

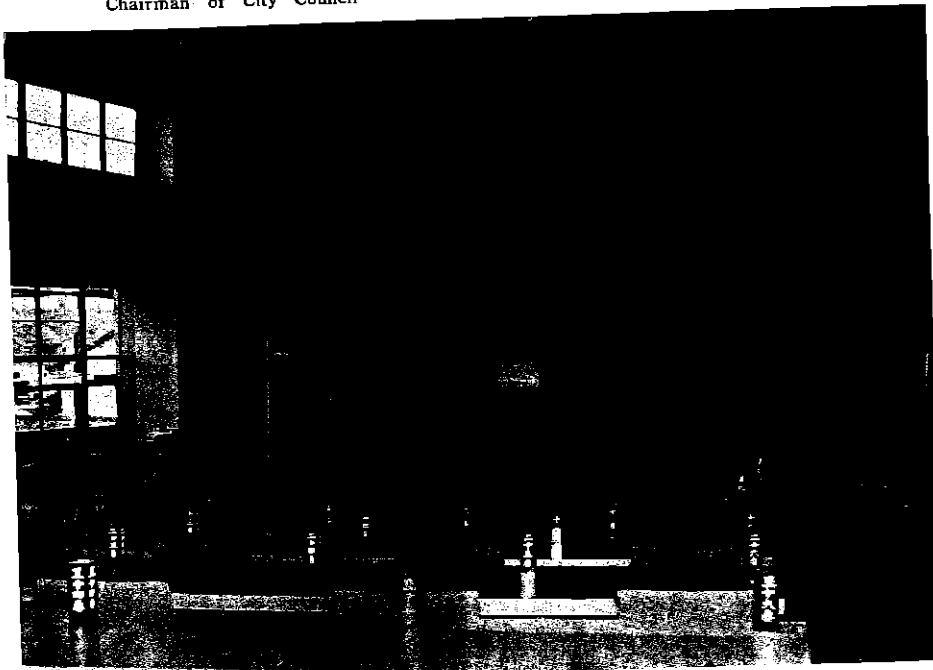
☆終りに本要覧の資料蒐集に御尽力下さった関係者各位に深甚なる謝意を表する次第である。



市議会議長 永 井 正  
Tadashi Nagai  
Chairman of City Council



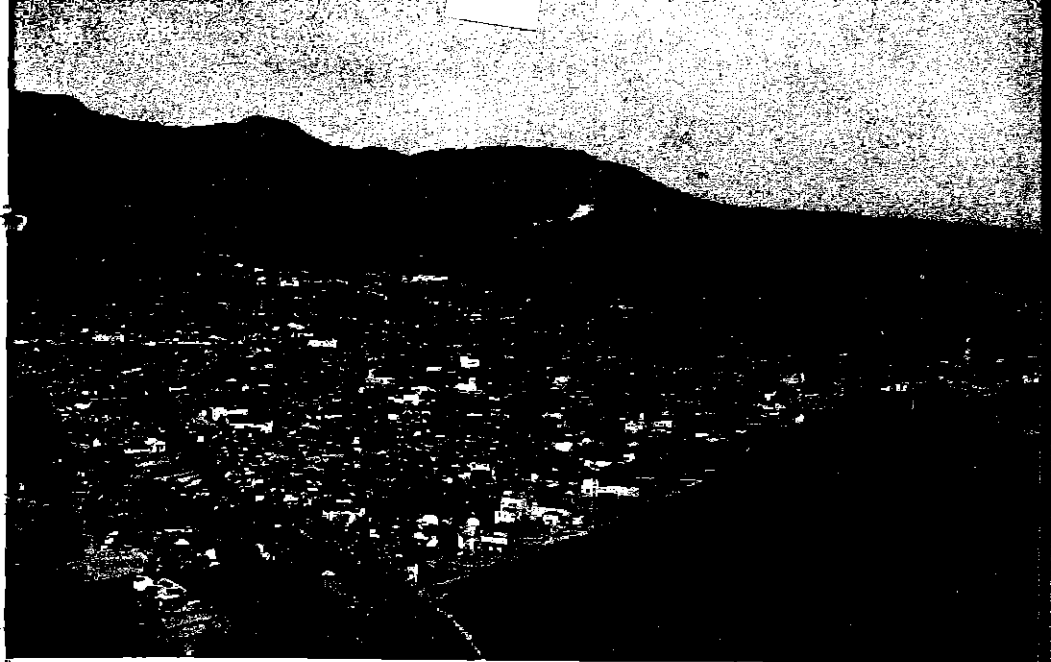
市議会副議長 石 坂 一 馬  
Kazuma Ishizaka  
Vice-Chairman of City Council



議 事 堂 内 部

目 次

1	總	說	1
2	人	口	4
3	行	政	6
4	財	政	17
5	教	育	21
6	公	安	26
7	產	業	31
8	市	民 生 活	37
9	社	會	43
10	金	融	50
11	保	健 衛 生	53
12	交	通 通 信	57
13	溫	泉	65
14	建	設	73
15	觀	光	77



## 地 勢

我が国唯一の海上公園であり海上のオアシスと謂うべき風光明媚な瀬戸内海の白波が西に尽くるところ、豊後富士、鶴見の連峰を背に負い南に四極山、北は国東半島に接し金波、銀波濼う別府湾を展望するところ露臺として湯煙たなびく泉都が東洋のナポリと謳歌され世界に誇る我が大別府市である。

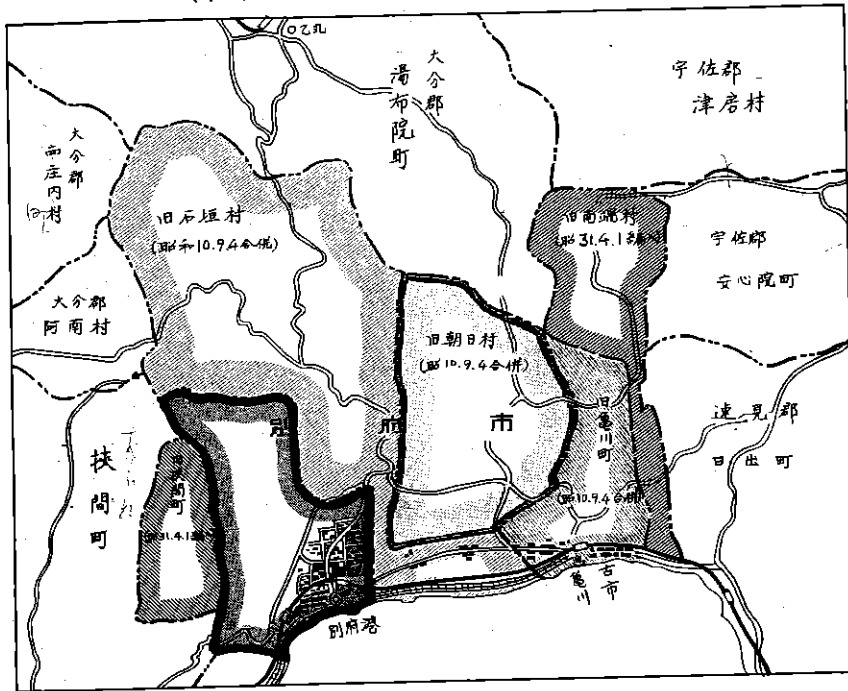
地勢は南西に高く四極山、小麴山、所謂小麴山脈は西に走り鶴見、由布の連峰に連り南西部一帯は山紫水明郷をなし鶴見岳に並ぶ扇を倒したような美観を呈する扇山とともに別府の風光に一入と妙趣を添えている。

鶴見連峰に源を発する朝見川、春木川、関の江の各河川は東に流れて別府湾に注ぎ北西一帯は地獄地帯と呼ばれ海地獄、坊主地獄、血の池地獄等数多の地獄が各々特色ある熱湯、熱気を吹き上げる様は実に壯観であり、凄絶である。

別府の生命である温泉は地獄地帯に限らず谷間、山麓、小川、海浜等所に湧出し現在湧出箇所4,300有餘、湧出量一昼夜40万石に達している然も泉質は極めて多様であり、靈泉としての凡ゆる効用を具備していることは温泉都市として将に理想郷である。

殊に交通は至便にして陸路は日豊本線により小倉、門司を経て阪神、関東方面へ、又大分を経て宮崎鹿兒島等の南国を結び或いは大分經由豊肥線及び久大線により熊本、北九州各地との交通も多く又海路は関西汽船により阪神、中国、四國の諸都市との交通繁く年とともに温泉観光都市としての名声を博している。

沿革 (市域拡張略図)



東洋のナポリと謳われ世界の菜土と讃えられる我が別府も其の発展は比較的最近であつた。貞原益軒の豊国紀行に「別府は石垣村の南にあり、民家百軒許民家宅中に温泉十個所あり、何れも清し」と記されている。之を現在の別府と比較すれば感嘆無量なるものがある。別府なる名称については王朝時代別働符賜田に指定せられ、この別府田は田制の紊れと共に狂園私塾と同様になり郷村と並び称せられ、遂に地名に転換したものと伝えられている。

建久7年3月大友能直、豊前豊後の守護となり、以来400年代々大友氏の統治する処であつた。

文禄2年大友氏国除となり越えて慶長2年福原直高の領する所となつた。慶長4年8月以来細川忠興の管する所となり、徳川幕府時代幕府の直轄として高松代官により支配せられた。明治維新の後別府村として日田県に属し明治21年町村制の発布により自治体となり、26年別府町となり、39年に兵衛町を合併した。

爾來町勢は次第に進展し内には市区改正、耕地整理、温泉改良、上水道施設等の諸事業を完成し外には明治44年7月16日日豊本線別府駅の開通あり、大正9年大阪商船会社の別府港に繋船壁を施設し海陸交通の便次第に完備するに随ひ別府温泉の名は漸く宣伝せられ、浴客の増加と共に人口は急激なる膨脹を示し明治39年兵衛町を合併せる当時の6,700余の人口は大正9年の国勢調査には28,600余に達した。

大正13年4月市制を施行昭和3年中外産業博覧会を開催し益々別府市の名を外に弘め遊覧都市としての施設も漸く完備した。然も四囲の状況は西北に発展するに至り昭和10年9月隣接町村石垣村、朝日村、湯川町を合併し人口62,000有となり温泉改革の統一、遊覧施設の統合、生産者と消費者の融合による大別府躍進の基礎を築いた。

昭和12年には国際温泉観光博覧会を開催し温泉の宣伝と観光客誘致に努め更に戦災を免れたる別府温泉は戦後愈々その名声を馳せ人口も10万を越えし昭和25年には別府国際観光温泉文化都市建設法の成立を見、昭和26年には大別府港の修築に着工し各種観光施設の充実と共に国内各地よりの観光客は勿論、米本國、布哇、印度、伊太利等その他諸外洋よりこの地を訪う客は累年多きに亘つている。昭和31年4月には日出町及び扶間町の一部を編入し行政区は益々拡大し明けて昭和32年3月より5月迄別府温泉観光産業博覧会を開催し国内産業及び科学の粋を覓め別府市が誇る温泉観光施設と共に観る者をして齊しく感嘆せしめ国際観光都市としての偉大な将来を約束されつゝ悠々の発展に一路躍進している。

市庁位置

昭32.11.1現在

市 庁 位 置	別府市大字別府100番地の1	
東 経	131度26分56秒	
北 緯	33度17分12秒	

面積及び広さ

昭32.11.1現在

面 積	方 針	124.873 平方料	方 里	7.804 平方里
東 西	9.15 料	南 北	12.8 料	
広 極 東	別府市大字浜脇下鉄帯			
極 西	別府市大字東山字西裏野			
字 極 南	別府市大字内成字アライ			
極 北	別府市大字南畑字木ノ根原			
大 字 数	15	行 政 区 数	117	

気 温

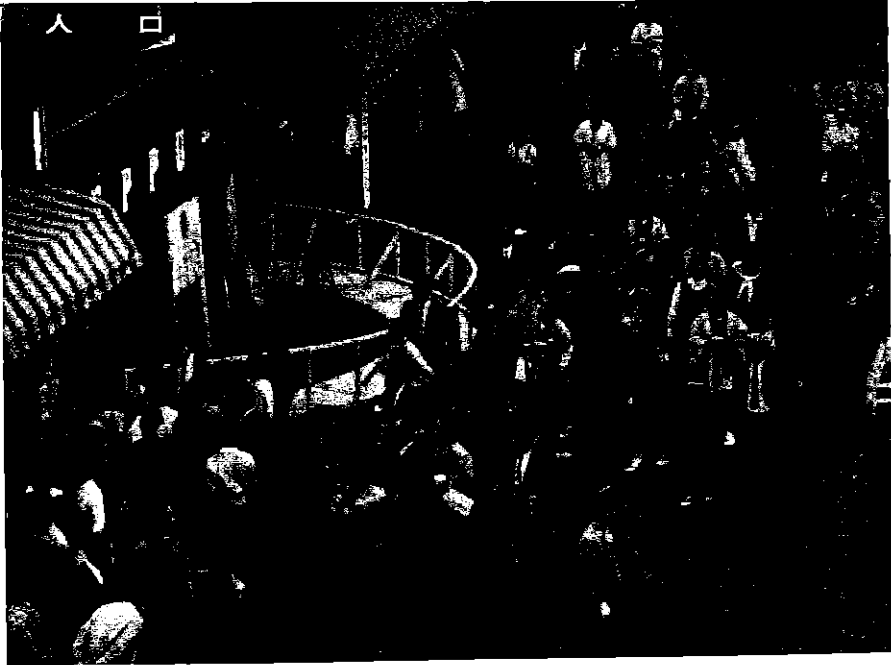
気 温	結 霜	降 雪		
最 高	最 底	初 終	初 終	
7月13日 34度1分	2月11日 -2度9分	11月28日 8度2分	2月20日 3度8分	12月9日 3度6分 3月14日 1度8分
(京大火山温泉別研所調)				
天 気	晴	曇	天 降	雨 降
快 晴	晴	天 曇	天 降	雨 降
40 日	138 日	187 日	150 日	8 日
(京大火山温泉別研所調)				

(註) 天気は降水の有無に關せず曇量により全日の平均雨量2未満なるときは、その日を快晴とし曇量8以上なるときは曇天としその他を晴天とす。降雨の日数は降雨量の0.1mm以上の日とする。

気 象 細 別

区 分	気 温			降 水		日 照 時		気圧平均	湿度平均
	平 均	最 高 極	最 底 極	總 量	日 数	總 量	日 照 率		
昭31年10月	18° 3C	28° 4C	10° 0C	132.45mm	11	142.62h	40.6%	1,009.6mb	81.2%
11月	11.7	21.6	2.0	16.70	3	182.63	58.1	1,013.9	71.0
12月	5.9	16.7	-1.4	1.15	2	166.05	53.3	1,015.5	63.6
昭32年1月	6.8	18.8	-1.8	31.00	12	139.91	43.9	1,012.2	71.5
2月	4.9	17.0	-2.9	110.05	12	132.22	42.7	1,012.8	70.6
3月	7.6	23.0	-1.0	70.10	15	176.53	47.6	1,008.7	68.6
4月	14.6	27.3	1.1	188.20	13	165.29	42.6	1,007.5	75.1
5月	17.7	27.1	7.8	231.90	17	192.05	45.1	1,003.9	76.8
6月	20.7	29.3	11.4	223.55	10	139.56	32.9	1,000.0	84.4
7月	25.4	34.1	18.2	373.59	20	144.81	33.5	999.3	84.7
8月	25.9	31.9	20.3	284.20	19	142.75	34.8	999.5	87.2
9月	21.1	29.7	13.2	650.59	16	117.45	31.8	1,003.3	82.3

(註) 降水日数は0.1mm以上の日気圧は海面更正をしてありません



本市は市制施行後国際温泉都市として将又観光文化都市としての諸施設も漸く充実し近郊町村の合併により遂次市勢伸展を見せ昭和32年10月1日現在総面積124.873平方軒に及び人口104,178人世帯数24,731と大分県人口の約8%を占めるに到つた。

性別人口においては都市の性格上女性が多く男80人に対し女100人で又世帯当り平均人口は4人である。人口動態については先づ婚姻では昭和25年の1,096組を頂点として漸次下降し昭和31年には723組と著しく減少し他方離婚についても終戦後の異常な社会状況の影響もあつて年とともに増加の一途を辿り昭和25年には215組と上昇して来たが昭和31年には152組と減少漸次常態に復つてゐる。

又出生は結婚率の上昇に比例して、とみにその数を増し昭和24年には2,984人であつたが昭和31年に到り1,674人と減少の傾向を辿つている。死亡においても昭和24年の2,014人を最高とし昭和31年には1,175人に下降しているが注目すべきは一時産児制限の普及に伴い増加しつゝあつた死産が漸次減少していることである。

昭和31年度における自然社会における両動態は前者が499人後者は3,108人と何れも増加している。

### 校区別世帯・人口・面積

昭和32.4.1現在

区分 校区別	世帯数	人口(人)			面積 (平方軒)
		総数	男	女	
野口学区	3,468	13,481	5,917	7,564	665,551
北山	2,672	12,164	5,031	7,133	474,767
青南	1,943	8,195	3,544	4,651	1,201,709
西蓮	3,407	12,974	5,655	7,119	342,995
蓮田	2,708	11,352	5,267	6,085	1,943,972
石垣	3,261	13,980	6,184	7,796	6,606,809
朝日	1,455	6,799	3,188	3,611	4,722,299
朝日	1,305	6,446	2,946	3,500	18,584,203
南川	2,859	13,099	6,148	6,951	16,063,333
東山	839	4,322	1,919	2,403	14,127,789
東山	218	1,396	738	658	43,753,009
計	24,135	104,178	46,707	57,471	124,873,33

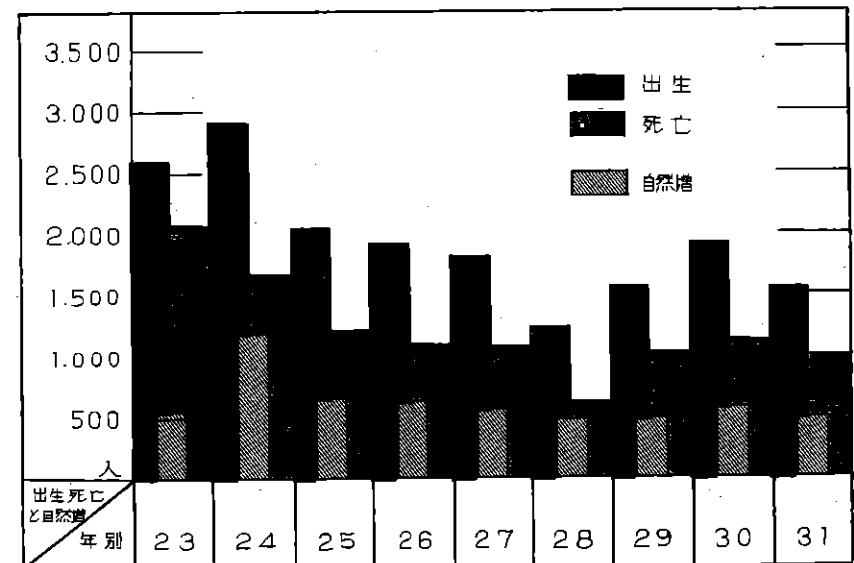
### 国籍別人口

昭和32.10.1現在

年度別	朝鮮	韓国	米	伊太利	白耳義	印度ネシヤ	西瑞	比律賓	中国	加京陀	ソ連	伯刺西蘭	無国籍	計
29	784	26	34	14	2	0	1	1	17	2	2	1	3	887
30	787	27	22	15	1	1	1	1	15	2	2	1	3	878
31	723	17	13	14	1	1	1	1	15	2	2	1	4	775

### 人口動態

年次別人口動態







### 執行機関

市長

現別府市長荒金啓治氏は昭和30年4月30日に行われた市長選に直接市民の手によって選出された才12代の公選市長である。

市長は総合的な市の執行機関として市の行政を統轄し市の自治事務の外法令によつて委ねられた国の事務をも管理施行する広範な職権をもっている。

### 歴代市長

順位	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
1	代 仲 沢 一 郎	大正 13. 9. 26	昭和 3. 5. 28	
2	代 平 山 茂 八 郎	昭和 3. 5. 29	" 7. 5. 28	
3	代 平 山 茂 八 郎	" 7. 5. 29	" 10. 6. 3	
4	代 永 野 清 郎	" 10. 6. 30	" 10. 9. 8	
5	代 小 野 廉 郎	" 10. 9. 22	" 13. 4. 11	
6	代 内 野 三 郎	" 13. 7. 11	" 17. 7. 10	
7	代 平 山 三 郎	" 17. 9. 24	" 17. 10. 19	
8	代 末 松 三 郎	" 17. 10. 20	" 21. 10. 19	
9	代 代 脇 一 郎	" 21. 11. 13	" 22. 4. 5	
10	代 代 脇 一 郎	" 22. 4. 6	" 26. 4. 2	公選による
11	代 代 脇 一 郎	" 26. 4. 25	" 30. 4. 12	"
12	代 荒 金 啓 治	" 30. 5. 2	現 在	"

### 歴代職務管掌

順位	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
1	代 大 木 俊 輔	大正 13. 4. 1	大正 13. 9. 26	職務管掌
2	代 小 坂 登	昭和 10. 6. 4	昭和 10. 8. 30	"
3	代 福 出 潤	" 17. 8. 19	" 17. 9. 24	臨時代理者

### 補助機関

市長の補助機関として助役、収入役をはじめ多数の職員をおき円満な運営がなされている。助役は市議会の同意を得てこれを選任、その任期は4年である。

市長の最高補佐機関として職員の担任する事務を監督し又市長の職務を代理する。収入役は市の出納その他会計事務を掌り収入及び支出を命令する市長に対し独立の地位を有し命令を審査する権限がある。任期は4年であつてこれが選任には市議会の同意を要するが任期中は解任できない。

本市が大正13年に市制を施行して以来の歴代助役、収入役は次の通りである。

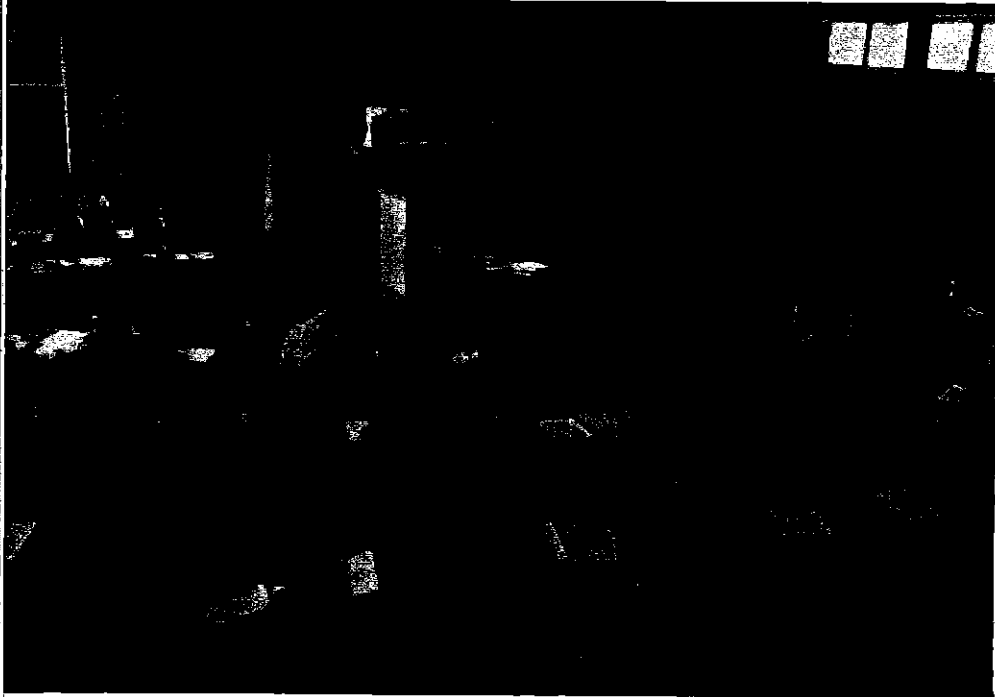
### 歴代助役

順位	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
1	代 笠 置 雪 治	大正 13. 10. 1	昭和 3. 10. 10	
2	代 藤 井 文 雄	昭和 3. 10. 6	昭和 7. 8. 29	
3	代 相 良 律 蔵	昭和 7. 10. 5	昭和 10. 12. 21	
4	代 猪 俣 喜 蔵	昭和 11. 3. 7	昭和 13. 7. 19	
5	代 福 田 潤	昭和 13. 8. 19	昭和 17. 8. 18	
6	代 福 田 潤	昭和 17. 9. 29	昭和 18. 5. 29	
7	代 賀 海 文 蔵	昭和 18. 5. 31	昭和 22. 4. 6	昭和22年勅令第3号該当
8	代 幸 岩 屋 珠 一 謹 吉	昭和 22. 7. 28	昭和 26. 7. 27	助役三人制
9	代 幸 河 村 珠 友 一 吉	昭和 26. 7. 28	昭和 28. 2. 5 昭和 30. 5. 19	助役二人制
10	代 岡 本 亮 介	昭和 30. 5. 19	昭和 32. 7. 31	
11	代 荒 金 進	昭和 32. 11. 1	現 在	

### 歴代収入役

順位	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
1	代 永 井 和 次	大正 13. 10. 11	昭和 3. 10. 10	
2	代 藤 沢 徳 三	昭和 3. 10. 18	昭和 7. 10. 17	
3	代 原 電 橋	昭和 7. 10. 22	昭和 11. 10. 21	
4	代 末 綱 文 生	昭和 11. 12. 16	昭和 15. 12. 16	
5	代 山 田 耕 平	昭和 15. 12. 17	昭和 19. 12. 16	
6	代 山 田 耕 平	昭和 19. 12. 17	昭和 23. 12. 16	
7	代 山 田 耕 平	昭和 23. 12. 17	昭和 27. 12. 16	
8	代 山 田 耕 平	昭和 27. 12. 17	昭和 31. 12. 16	
9	代 山 田 耕 平	昭和 31. 12. 17	現 在	





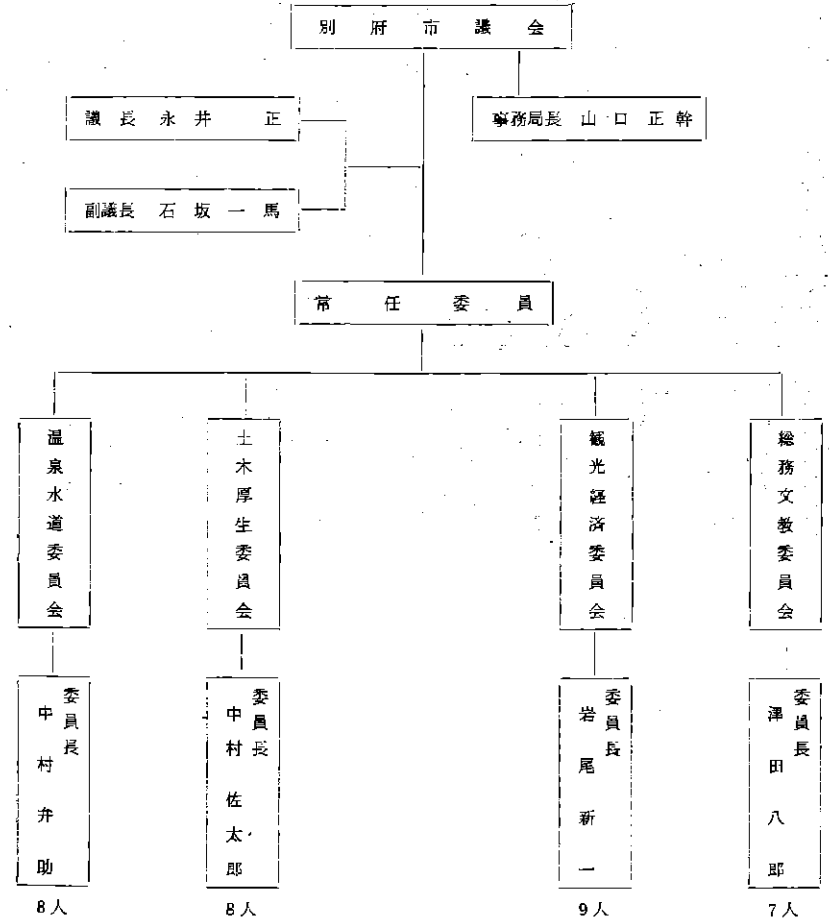
開会中の別府市議会

### 議 決 機 関

別府市議会は条例の定むる所による36名の議員によつて構成されている。その任期は4年である。市議会は市民の代議機関であつて議決権の外監査の請求、行政事務の調査など広汎な権限が附与されている。議員の選挙権は満20才以上の日本国民で3ヶ月以上引つゞいて市内に居住することを要件とし、被選挙権はこの選挙権を有するもので満25才以上でなければならない。

市議会の議長及び副議長は議員の中から市議会に於て選挙される。議長は会議を主宰し市議会に関する事務を統理し議会を代表する。なお市議会には市議会の庶務一般を処理するため事務局が設けられ、これに事務局長、書記等がおかれている。

### 機 構



(昭和32年11月1日現在)

歴代市議会議員

順位	氏名	就任年月日	退任年月日
1	代 山田耕平	大正 13. 6. 28	大正 15. 7. 8
2	代 山橋欽哉	大正 15. 7. 8	昭和 3. 6. 19
3	代 山田耕平	昭和 3. 6. 29	昭和 7. 6. 20
4	代 川野直吉	昭和 7. 7. 1	昭和 9. 12. 10
5	代 川野直吉	昭和 10. 3. 15	昭和 11. 6. 20
6	代 森八治	昭和 11. 7. 6	昭和 13. 8. 18
7	代 川野直吉	昭和 13. 8. 18	昭和 15. 1. 19
8	代 近幸雄	昭和 15. 3. 11	昭和 15. 6. 20
9	代 手島森太郎	昭和 15. 7. 9	昭和 17. 9. 10
10	代 宇都宮綱喜	昭和 17. 9. 10	昭和 21. 10. 30
11	代 岡 眞喜	昭和 21. 10. 30	昭和 22. 4. 29
12	代 垣 迫 杉太	昭和 22. 5. 24	昭和 25. 11. 17
13	代 佐藤福治	昭和 25. 11. 17	昭和 26. 1. 10
14	代 平野 園松	昭和 26. 3. 7	昭和 28. 3. 7
15	代 平野 園松	昭和 28. 3. 7	昭和 30. 2. 19
16	代 永井 正	昭和 30. 5. 18	現 在

歴代市議会副議長

順位	氏名	就任年月日	退任年月日
1	代 和出嘉七	大正 13. 6. 28	大正 15. 7. 8
2	代 河村三吉	大正 15. 7. 8	昭和 3. 6. 20
3	代 岩尾恒吉	昭和 3. 6. 29	昭和 5. 6. 30
4	代 藤沢良吉	昭和 5. 6. 30	昭和 7. 6. 20
5	代 代鶴田直造	昭和 7. 7. 1	昭和 10. 3. 27
6	代 安部謙吾	昭和 10. 3. 27	昭和 11. 5. 1
7	代 手島森太郎	昭和 11. 5. 9	昭和 11. 6. 20
8	代 毛井 睦治	昭和 11. 7. 6	昭和 13. 7. 4
9	代 近幸雄	昭和 13. 8. 11	昭和 15. 3. 11
10	代 小野福一	昭和 15. 7. 9	昭和 15. 6. 20
11	代 小野福一	昭和 15. 7. 9	昭和 17. 10. 3
12	代 小田謙一	昭和 17. 10. 3	昭和 21. 10. 30
13	代 牧 福一	昭和 21. 10. 30	昭和 22. 4. 29
14	代 安部卓一	昭和 22. 5. 24	昭和 25. 11. 17
15	代 池田 好	昭和 25. 11. 7	昭和 26. 1. 10
16	代 永井 正	昭和 26. 3. 7	昭和 27. 7. 28
17	代 星野 敦夫	昭和 27. 10. 20	昭和 28. 6. 30
18	代 永井 正	昭和 28. 6. 30	昭和 30. 2. 19
19	代 大塚 賢	昭和 30. 5. 18	昭和 31. 6. 13
20	代 原田 時市	昭和 31. 6. 13	昭和 32. 11. 1
21	代 石坂 一馬	昭和 32. 11. 1	現 在

市議会議員

昭和32.11.1現在

氏名	席順	職名	職業	電話番号	住所
宇都官秀綱	1	観光経済監査	無職	39	別府市不老町
久保鶴繁	2	温泉泉水水道	会社社長	1,358	不住吉
井口吞吉	3	温泉泉水水道	会社社長	2,268	上野口
大塚熊吉	4	温泉泉水水道	会社重役	2,794	流川
平野国松	5	土木厚生	無職	1,684	梅園
岩尾新太郎	6	土木厚生	会社重役	86	北野
中尾佐太郎	7	土木厚生	会社重役	1,943	北野
吉岩権六	8	総務文教	飲食業	649	北野
原良三	9	総務文教	旅館業	2,007	北野
横江征一	10	観光経済	食料品店	8,358	南野
中村奔助	11	温泉泉水水道	会社重役	66	新町
佐藤静雄	13	総務文教	会社社長	569	團合
阿部新	14	観光経済	旅館業	2,587	羽衣
友永勘三郎	15	温泉泉水水道	製パン業	1,225	羽衣
石坂一馬	16	副議長	会社重役	50	弓ヶ浜
荒金平	17	土木厚生	会社重役	136	ノ湯
永井正	18	土木厚生	会社重役	775	四ノ湯
津田時市	19	総務文教	会社社長	132	向川
河野八郎	20	総務文教	飲食業	8,067	北中
野田幹雄	22	土木厚生	旅館業	1,177	北中
安藤千代喜	23	土木厚生	質屋業	381	老松
栗山吉二	24	土木厚生	雑貨商	1,602	秋葉
玉田栄太郎	25	温泉泉水水道	会社重役	2,986	八流
佐々木国五郎	26	温泉泉水水道	会社重役	629	南川区
井上 司	28	観光経済	請負業	799	立石
浅井伝治郎	29	温泉泉水水道	農業	81	上人
松野比古	30	観光経済	会社社長	782	末広
池田三比古	31	土木厚生	会社重役	1,804	海門
前田松夫	32	総務文教	建築設計	3,700	原区
佐藤晴信	33	土木厚生	会社重役	3,391	行輪
安大平	34	土木厚生	貨物業	1,788	錦区
	35	観光経済	会社重役	8,439	西野
	36	温泉泉水水道	会社重役	236	西野

市議会用会数及び議決件数

昭和31年度

区別	回数	日数	提案件数	原案可決	修正可決	否決	撤回	協議会
定例	4	36	105	101	3	1	—	—
臨時	1	1	1	1	—	—	—	10
計	5	37	106	102	3	1	—	10

### 委員会及び委員

各種行政委員会は合議制による行政機関であり、この制度は戦後我が国の行政機構のなかに急速に取り入れられ著しい発展をみせている新しい型の行政機関である。

普通地方公共団体には地方自治法180条の5により教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会等の各種の行政委員会が置かれている。

### 選挙管理委員会

選挙管理委員会は選挙の民主化と公正を保障するため設けられた、公選首長に対して独立の地位を有する執行機関であつて、その委員の構成を不偏不党たらしめ、選挙権を有する者より市議会において選挙した委員3名をもつて構成し、任期は3年である。

委員会は本市又は国その他公共団体の選挙に関する事務並に一般投票に関する一切の事務を管理し、合議制によつて会議の運営をはかる。

### 選挙管理委員会委員及び職員

(昭32.11.1現在)

選挙管理委員	補充員	委員会開催数	局長	書記	雇
3	3	16	1	4	2

### 選挙管理委員

(昭32.11.1現在)

取 名	氏 名	生 年 月 日	取 業	現 住 所	電話番号
委員 長	毛 利 敬 止	明32. 12. 1	無 職	別府市不老町19組	188
委 員	三 浦 直 政	明30. 1. 21	大 学 講 師	“ 上 原 5 組	—
“	宇 佐 美 鉄 雄	明38. 11. 29	税 理 士	“ 朝 見 9 組	—

### 各種選挙別執行結果

(昭31.4~昭32.9)

区 分	執行年月日	有 権 者 数			投 票 者 数			投票率%
		男	女	計	男	女	計	
参議院大分県選出議員選挙	昭31. 7. 8	26,428	36,006	62,434	18,909	23,113	42,022	67, 31
“ 全国選出 “	“	26,428	36,006	62,434	18,909	23,116	42,025	67, 31
海区漁業調整委員会委員選挙	昭31. 8. 10	412	297	711	372	266	641	90, 01
農業委員会委員選挙	昭32. 7. 16	1,609	1,774	3,383	1,512	1,655	3,167	93, 62
		1,454	1,514	2,968	無投票となつたもの			
		3,063	3,288	6,351	合 計			

### 監査委員

監査委員は市長より独立し、又他の各種行政委員会と異なる独任制の機関であつて地方自治法の定めるところにより市行政の公正と効率の確保を指導理念として、市行政の実態を検討把握し、その結果を發表することにより議会の審議及び理事者の執行に資すると共に市民の市行政に対する関心を振起することを目的とするものである。

本市監査委員の定数は2名であり、市長が市議会の議員及び学識経験者の中から各1名づつ、議会の同意を得て選任するのであり、現在の監査委員は次の2名である。

昭32. 11. 1現在

氏 名	選 任 別	生 年 月 日	現 住 所
宇 都 宮 秀 綱	市 議 会 議 員	大 8. 1. 10	別府市大字別府2,192の1
上 出 鴨	市 学 識 経 験 者	明 35. 9. 7	別府市大字内竈1,032の2

監査委員の職務執行を補助するため監査事務局が置かれており補助職員は局長以下6名である。昭和31年度中に執行した監査は次の通りである。

総 数	例 月 検 査	臨時出納検査	定 期 監 査	臨 時 監 査	決 算 審 査
2 2	12	2	5	1	2

### 公平委員会

昭和25年12月13日公布された地方公務員法の完全な実施を確保し、その目的を達成するために同法7条の規定に基いて昭和26年7月27日に本市の公平委員会が設置された。委員会は一般の職員の人事行政に関して調査企画を行い、研究の結果を市議会又は任命権者に提出し、人事行政の運営について任命権者に勧告し判定する等の職務権限がある。委員会は市長が市会の同意を得て選任する3名からなり、委員の任期は4年であり、現在の公平委員は次の通りである。

昭32. 11. 1現在

氏 名	住 所	氏 名	住 所	氏 名	住 所
二 宮 威 徳	海 門 寺	佐 藤 勇 吉	弘 原	原 迫 杉 太	松 原

### 固定資産評価審査委員会

地方税法423条及び431条の規定により固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服を審査決定するために昭和26年11月1日本市に次の通り固定資産評価審査委員会が設置された。

### 固定資産評価審査委員

昭32. 11. 1現在

氏 名	住 所	氏 名	住 所	氏 名	住 所
金 忍 曹 三	北 浜	高 橋 栄 一	不 老	田 中 志	亀川本町
高 橋 亮 三	古 市	安 波 龜 治	鉄 輪	佐 藤 勇 吉	弘 原
宮 崎 隆 人	不 老	末 松 利 治	上 原	岩 尾 米 造	桶 町

### 農業委員会

農業委員会は農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り農民の地位の向上に寄与するための代表機関として設けられた独立機関である。

委員会は其の権限に属された農地等の利用調整及び自作農の創設維持、交換分会その他農地に関する諸事務を処理し農業生産の増進、農業経営の合理化、農民生活の改善等に関する振興計画の樹立、実施の推進について建議又は諮問に応ずる。

尚昭和32年7月20日以降委員会機構運営の整備のため従来市に設置されていた四委員会を廃し、一委員会に改組された。

### 委員会機構並びに開催回数

昭31.10.1~32.7.19

委員数					書記数					開催回数				
別府	石垣	朝日	亀川	計	別府	石垣	朝日	亀川	計	別府	石垣	朝日	亀川	計
13	13	13	13	52	2	2	2	2	8	6	9	8	8	31

昭32.7.20~32.9

委員数			取員数		開催回数
公選	選任	計	定員	現員	
20	10	30	8	7	3

### 委員会取扱件数

件数	区別	所有権移転			農地の潰廃			小作地引上		
		件	件	件	件	件	件	件	件	件
受理	件数	230			243			14		
許可	件数	225			241			14		
不許可	件数	3			—			—		
取下	件数	2			2			—		



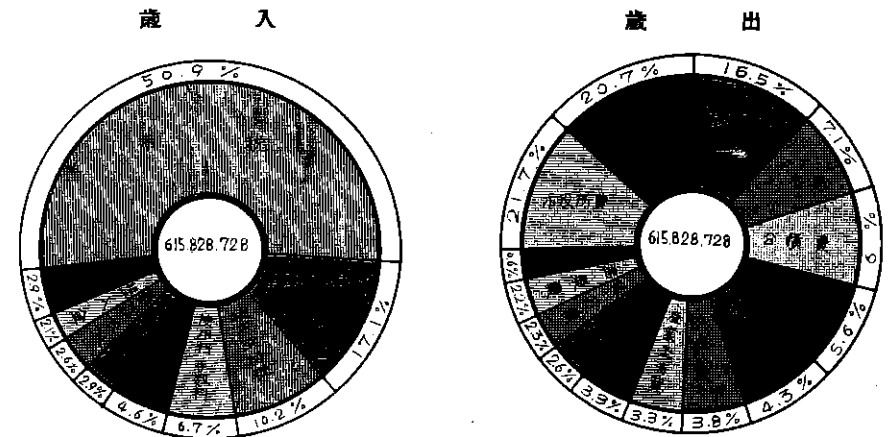
現行の地方自治法が昭和22年5月に制定されてから本年は満10周年にあたる。この法律に基く地方自治の制度は既に健全な発展を遂げ特に市町村は昭和28年10月から施行された合併促進法によつて面目を一新し、今や地方自治に残された重要な課題はどうして自治能力のある自治母体を育成して行くかそして又どうすれば地方自治体の財政の執行が一層効率化し近代化するかということにある。

昭和25年シヤップ勧告に基く地方税制度改革以降の六三制実施を始めとする事務事業の増加に対する国の財源措置の不満足、戦後の復興に対する財政負担と、毎年の如く頻りに襲つた災害等を原因とする財政の窮乏は最近に至り、その傾向が漸く鈍化してきたのであるが、これに起因した公債費の元利償還金、一時借入金等の著しい増加は必ずしも楽観を許さないものがあり、一方投資的経費の抑制、行政水準の低下による収支均衡の保持というような実情が現われたのである。

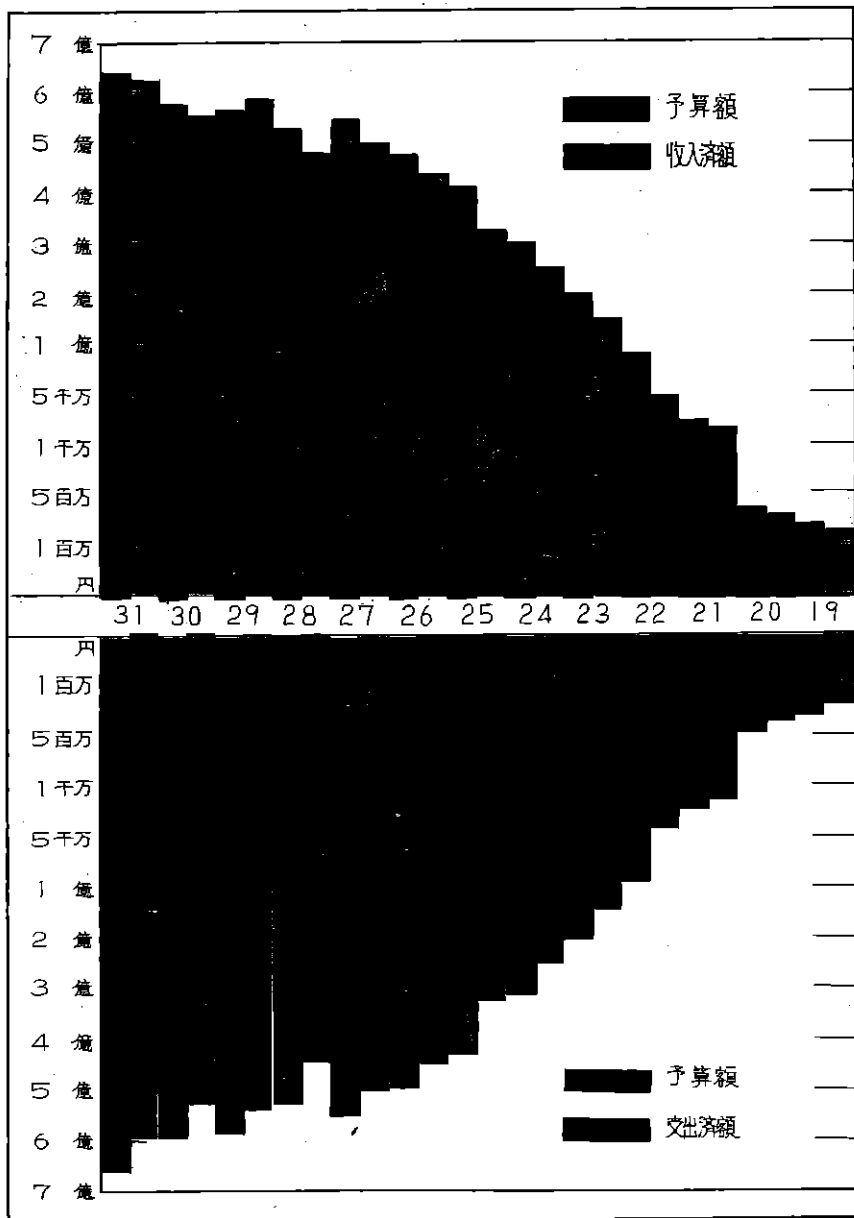
この隘路に対しては徹底した消費的経費の節減と重点的な投資による事業の推進に俟つ外はない。その裏付となるものは市収入財源の50%を上回る市税収入の確保がなければならない。市税はその用途に制限を受けない自由財源の大宗であり、財政に弾力性を与える根幹である。税収の確保がなければ財政という動脈は硬化するが市税の収入財源に占める割合が逐年増加しつつあるにも拘らず、その徴収の実績は全国平均を相当に下回り、調定額の増加に比する収入率の伸びが見られず滞納額の抑制には抜本的な処置を講ずる必要が痛感されるに到つたのである。昭和32年度においては別府市の開催に併行して将来に視点を置いた重点的な投資が予算化されたが、その執行に当つてはその事業が適す効果を考慮した緩急により予算の合理的、効率的な運営の方針が定められたのである。尚本市水道公営企業及び運輸事業会計においても後述する通りである。

### 一般会計歳入歳出予算

(昭32.11.1.現在第2回追加更正予算迄)



一般会計年次別決算比較表



特別会計歳入歳出予算

本市特別会計は水道、競輪の二企業である。特別会計は原則として独立採算制によらねばならぬのは固よりであるが、競輪事業における収益は、一般会計に繰入れられ、道路補装に、住宅建設に、大きな役割を果たしている。

水道費昭和31年度決算状況

(単位 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比率 B/A	科 目	予算額(A)	決算額(B)	比率 B/A
収益的収入	68,887,633	68,686,424	96.80	資本的収入	2,140,000	2,192,241	102.44
営業収益	60,147,883	57,885,367	96.24	工事負担金	40,000	92,241	230.60
附帯事業収益	8,427,400	8,080,774	95.87	剰余金処分繰入	2,100,000	2,100,000	100.00
営業外収益	312,350	720,263	230.59	資本的支出	11,939,574	8,775,237	73.50
収益的支出	68,887,633	67,389,399	97.83	建設改良費	6,005,800	2,841,463	47.31
営業費用	24,420,327	23,872,759	97.75	企業債償還金	5,933,774	5,933,774	100.00
附帯事業費	7,695,029	6,936,093	90.14				
一般管理費	27,631,867	27,482,355	99.46				
営業外費用	9,098,192	9,098,192	100.00				
予備費	42,218	—	—				

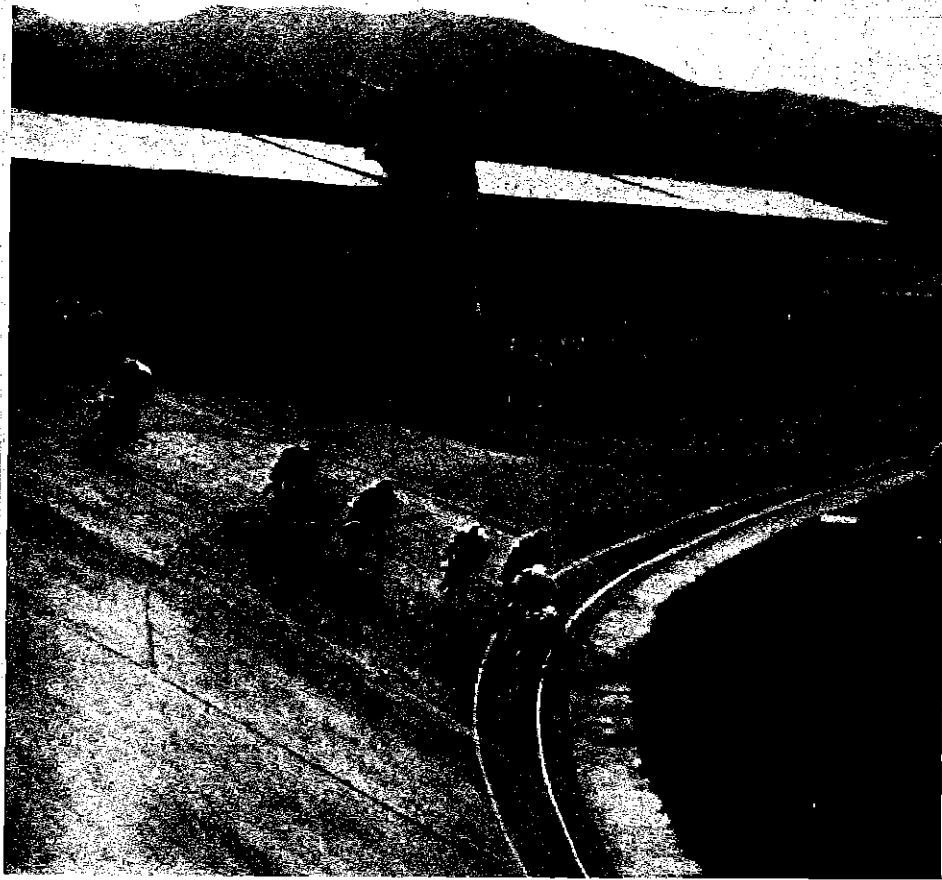
(注) 資本的収入が資本的支出に対して不足する額6,582,996円は当年度損益勘定留保資金11,256,144円のうちから補填した。

競輪事業

別府競輪は本市財政打開の方策として昭和25年4月に設立され現在に至っている。その間昭和29年9月ルース台風の為走路は流失、建物は全潰し甚大なる被害を蒙つたが、直に復旧し、売上の向上に努めるとともに事業の合理化により、増収を図り、本市財政に寄与し、市道の舗装、住宅建築等所期の目的を達成しつつあるが、最近の全国的な金融引締により売上も頭打の傾向を示し、特にこの度の競技法の一部改正による影響は頗る大きいものがあるので、これが対策として新しいフアンの開拓、宣伝の強化特殊レース、サービスの改善等により、打開を図り事業の健全化に努めている。

競輪事業会計決算状況

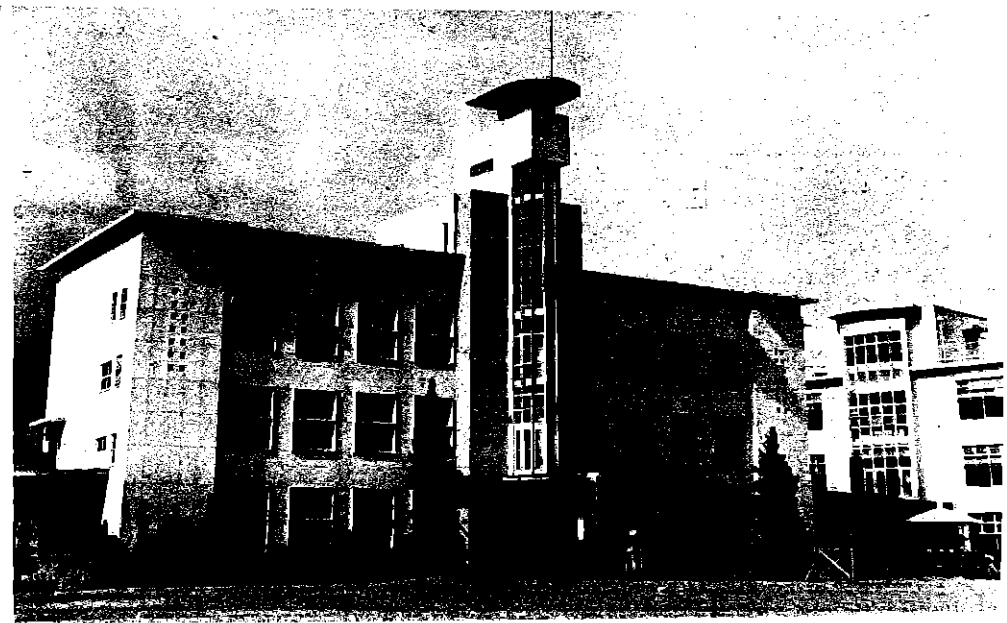
科 目	30年度(A)	31年度(B)	比率 B/A	科 目	30年度(A)	31年度(B)	比率 B/A
入場料	117,400	86,010	73.2	競輪場費	2,872,842	3,596,794	125.1
車券発売金額	318,190,100	344,513,400	108.2	開催費	293,545,795	315,272,698	107.4
車券発売事故収入	10,100	—	—	交付金	9,595,703	10,335,402	107.7
繰越金	843,780	1,563,094	185.2	公債費	12,339,220	—	—
雑収入	1,054,678	1,052,237	99.7	諸支出金	299,404	14,456,548	482.8
合 計	320,216,058	347,214,741		合 計	318,652,864	343,861,442	



(別府湾頭に繰展げる別府競輪の熱戦)

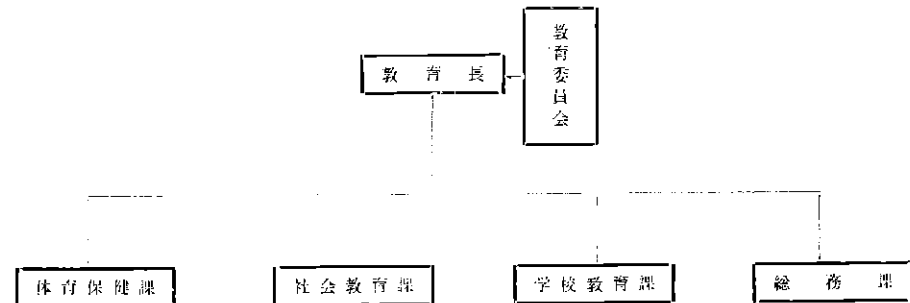
競 輪 場

レースの使用面積		収容人員	場内総坪数	従事員数	施設工事費
延長	幅員				
330m	9 m	10,000 人	12,000 坪	356 人	27,658,000 円



モデルスクール 青山中学校

教育委員会機構



職 員 数

昭 32. 10 現在

教 育 長	委員 会 事 務 局	学 校 教 育 課	学 校 其 他 の 教 育 機 関 事 務 部 局
和 田 政 見	14	65	58

委 員

昭 32. 10 現在

委 員 長	副 委 員 長	委 員	
川 尻 芳 雄	松 本 亀 雄	高 橋 豊 之 進 佐 藤 福 治	和 田 政 見



### 幼稚園

昭32.10現在

公、私立	幼稚園別	幼稚園数	園児数			組一当り園児数	教員数			教員一人当り園児数	
			男	女	計		男	女	計		
市立	幼稚園	10	759	675	1,434	39	36.3	—	54	54	26.1
私立	幼稚園	4	184	141	325	11	30	—	14	14	23
計		14	943	816	1,759	50			68	68	

### 小学校

昭32.10現在

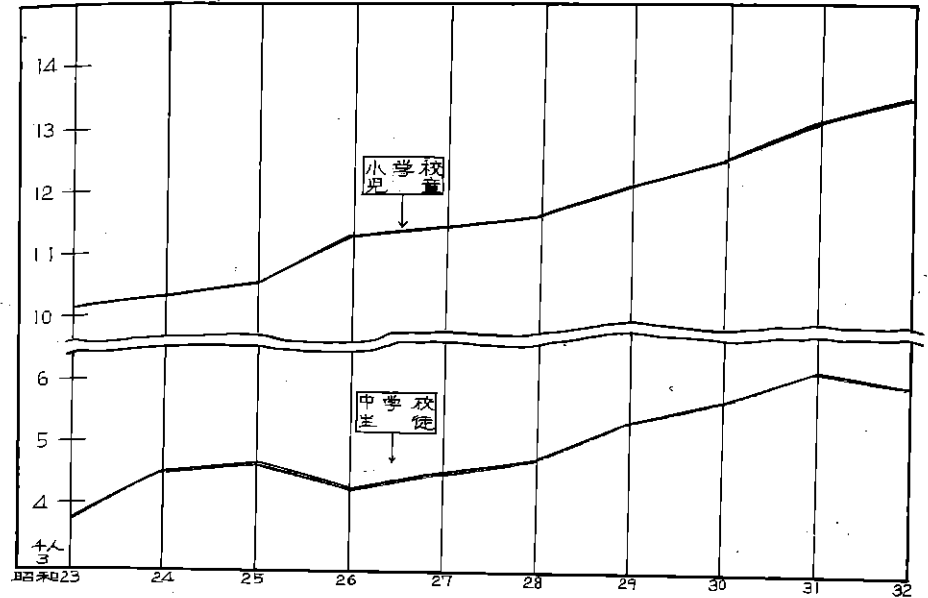
公、私立	学校名	児童数			学級数	一学級当り児童数	教員数			教員一人当り児童数
		男	女	計			男	女	計	
市立	野口小学校	865	821	1686	33	54	21	15	36	49
"	北 "	734	695	1429	27	53	16	14	30	48
"	兩 "	902	801	1703	31	55	18	17	35	49
"	蓮田 "	944	897	1841	34	51	20	18	38	48
"	西 "	750	767	1517	30	51	18	15	33	46
"	兩立石 "	282	253	535	12	45	9	5	14	38
"	亀川 "	910	957	1867	33	57	19	18	37	51
"	朝日 "	386	415	801	17	47	11	8	19	42
"	石垣 "	434	394	828	17	49	12	7	19	44
"	青山 "	465	520	985	20	49	13	10	23	43
"	東山 "	49	59	108	3	36	2	1	3	36
"	天間 "	40	20	60	3	20	1	2	3	20
"	枝郷分教場	25	19	44	2	22	1	1	2	22
"	山ノ口 "	27	18	45	2	23	1	1	2	23
"	湯山 "	15	8	23	2	12	1	1	2	12
私立	明星小学校	24	80	104	6	17	—	8	8	13
計		6,852	6,724	13,576	272		163	141	304	

### 中学校

昭32.10現在

公、私立	学校名	生徒数			学級数	一学級当り生徒数	教員数			教員一人当り生徒数
		男	女	計			男	女	計	
市立	山ノ手中学校	733	679	1,412	25	57	29	7	36	39
"	青山 "	593	609	1,202	22	55	26	6	32	38
"	中部 "	415	414	829	16	52	19	4	23	36
"	北部 "	505	499	1,004	19	53	21	6	27	37
"	浜脇 "	462	449	911	18	51	19	6	25	36
"	朝日 "	179	184	363	9	40	12	2	14	26
"	東山 "	45	39	84	3	26	4	1	5	15
"	天間 "	18	18	36	2	18	4	—	4	9
私立	明星 "	—	69	69	3	23	—	5	5	14
計		2,950	2,960	5,910	117		134	37	171	

### 累年児童生徒数 (市立校のみ)



### 高等学校

昭32.10現在

公、私立	学校名	生徒数			学級数	一学級当り生徒数	教員数			教員一人当り生徒数
		男	女	計			男	女	計	
県立	別府鶴見ヶ丘高等学校	全日制	400	1,080	20	54	42	7	49	22
		定時制	144	17	161	4	40	7	9	10
"	別府緑ヶ丘高等学校	311	740	1,051	23	46	31	8	39	27
市立	別府商業高等学校	132	82	214	4	54	12	—	12	18
私立	別府目由ヶ丘高等学校	255	257	512	11	46	21	10	31	16
"	明星学園高等学校	—	207	207	5	41	7	11	18	12
計		1,522	1,703	3,225	67		120	39	159	

### 大学

昭32.10現在

公、私立	学校名	学生数			教授数		
		男	女	計	男	女	計
私立	別府大学	147	270	417	49	9	58

公民館・分館・委員・職員数

昭 32. 10 現在

本館	地区館	町内分館	運営審議委員	館長	主事	事務職員	その他の職員
1	5	50	21	荒波忠夫	1	4	3

活用状況 (本館のみ)

昭 31. 4~昭 32. 3

区分	大ホール		講座室		会議室		その他	
	開催数	利用者数	開催数	利用者数	開催数	利用者数	開催数	利用者数
公民館行事	20	30,000	240	25,000	130	3,000	60	1,300
外部行事	125	130,000	150	8,000	140	3,500	50	1,200
計	145	160,000	390	33,000	270	6,500	110	2,500



(公民館)

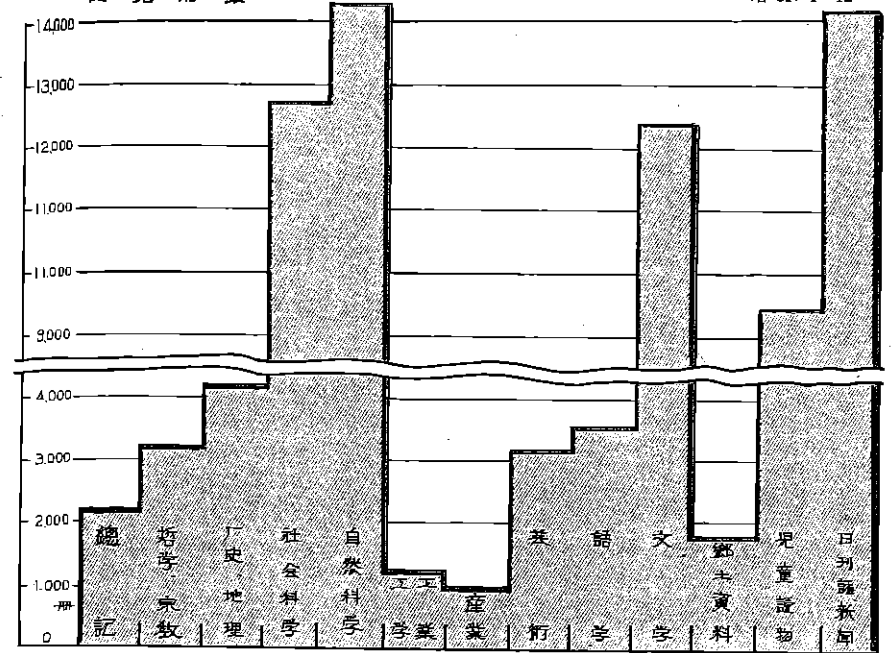
図書館蔵書数

昭 32. 10 現在

区分	総記	哲教 学育	歴地 史理	社自 会然 科学学	工工産 学業業	芸術 学	文 学	郷土 資料	児童 読物	分 類 外	計

閲覧冊数

昭 31. 1~12



月別閲覧人員

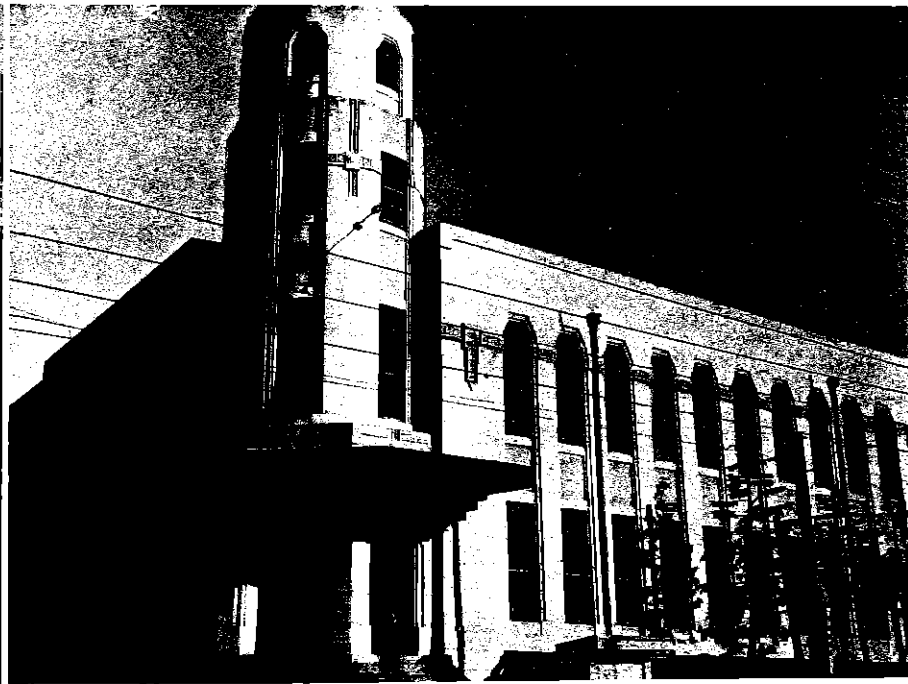
昭 31. 1~12

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
人員	2,879	3,952	3,102	2,628	3,448	5,455	5,544	5,469	4,238	4,030	4,437	3,456	48,638

業種別閲覧人員

昭 31. 1~12

区分	児童	学生 徒生	公務員	宗教 員家	著法医 述 業務業	農水鉦 林産工 業業	商交 通 業業	その他の有業	無業	計



別府警察署

派出所・駐在所数

昭 32. 10 現在

警部補派出所	隊長派出所	巡查派出所	巡查駐在所	管内世帯数	管内人口
1	—	6	8	24,135	104,178

(別府警察署調)

犯罪発生及検挙件数

昭 31. 7~昭 32. 6

罪名	発生件数	検挙件数	罪名	発生件数	検挙件数
殺人	14	(1) 13	詐欺	476	(58) 375
強盗	7	5	横領	89	(15) 65
放火	3	3	背任	12	(1) 12
強姦	2	2	偽造	22	23
暴行	63	(1) 57	汚職	5	5
傷害	164	154	賭博	1	1
脅迫	21	(7) 18	わいせつ行為	1	1
恐喝	48	(249) 38	わいせつ物	20	(3) 20
窃盗	2,516	884	その他	156	(333) 156
贓物	74	74	計	3,694	(333) 1,906

( )の数字は管外事件の検挙数

(別府警察署調)

交通事故発生件数

昭 31. 7~昭 32. 6

区分	歩行者	自転車	電車	自動車	汽車	その他	物件損害額
件数	—	15	4	67	1	—	2,158,000円
負傷	34	17	—	45	—	—	
死亡	4	—	—	7	—	—	

(別府警察署調)

警察取締営業所数

昭 32. 7 現在

区分	料理店	貸席	カフェ	飲食店	キャバレー	ダンスホール	遊技場	質屋	古物商	古物市場	古銭金戻回収	計
軒数	11	114	40	174	4	—	38	75	187	7	31	631

(別府警察署調)

民事事件

昭 31. 1~12

区分	通常	和解	督促	仮差押処分	過料	共助	結事件	計	
民事事件	新受	370	134	427	76	131	41	532	1,711
	既済	387	130	426	79	131	46	534	1,735
	未済	138	4	1	—	—	4	10	157
区分	一般調停	宅地建物	商事	計					
調定事件	新受	48	114	8	170				
	既済	42	117	8	167				
	未済	8	11	—	19				

(別府簡易裁判所調)

刑事事件

昭 31. 1~12

区分		受 理		終 局	未 終 局
		旧 受	新 受		
通 常	刑法犯	16	288	267	17
	特別法犯	16	12	24	4
略 式	刑法犯	—	196	196	—
	特別法犯	13	1,336	1,325	24
そ の 他		—	1,603	1,603	—

(別府簡易裁判所調)

事件取扱件数

昭 31. 11~昭 32. 10

区 分	受 理				処 理						
	総 数	検察官認 知及直受	通常司法審 察職員より	その他検 察庁より	総 数	起 訴	不起訴	中 止	他 送	え 致	未処理
刑 法 犯	991	27	900	64	987	555	317	13	101		4
特 別 法 犯	2,060	125	1,610	32	2,059	1,365	237	26	431		1

(別府区検察庁調)

略式請求罪名別件数

昭 31. 11~昭 32. 10

罪 名	件 数	罪 名	件 数	罪 名	件 数
火 災 類 取 締	2	勞 働 基 準 法	1	脅 迫	7
古 物 富 業 法	6	煙 草 専 売 法	12	住 居 侵 入	3
森 林 法	2	道 路 運 送 車 輛 法	8	わ い せ つ 文 書 頒 布	7
職 業 安 定 法	8	道 路 交 通 取 締 法	1,332	賭 博	3
銃 砲 刀 劍 類 所 持	13	婦 女 (昭22勅9号)	13	贈 賄	2
食 糧 管 理 法	8	風 俗 宮 業 取 締 法	5	傷 害	112
酒 税 法	21	公 職 選 挙 法	5	暴 行	19
外 国 人 登 録 法	2	地 方 公 共 団 体 の 条 令	22	建 造 物 失 火	1
小 型 機 船 (昭27 農5)	6	船 舶 安 全 法	3	侮 辱	1
狩 猟 法	1	漁 業 法	2	運 失 物 横 領	1
証 券 法	1	業 務 上 過 失 傷 害	44	威 力 業 務 妨 害	1
目 動 車 損 害 賠 償	12	業 務 上 過 失 致 死	2	計	1,676

(別府区検察庁調)

一般登記件数表

昭 31. 1~12

総 数		甲 号				乙 号				
件 数	面 積 登 録 数 税 料	不 動 産 及 船 舶 登 記		商 業 登 記		そ の 他 の 登 記		件 数 請 求 官 公 請 吏 文 史 は の 求	手 数 料	
		件 数	面 積 登 録 税	件 数	登 録 税	件 数	登 録 税			
42,146	43,024	33,526,881	15,918,430	31,251,356	577	1,687,645	147	19,596	5,908	587,880

(大分地方方法務局別府出張所調)

供託有価証券年表

昭 31. 4~昭 32. 3

前年度より越高		受 高		払 高		現 在 高	
枚 数	券 面 額	件 数	枚 数	券 面 額	件 数	枚 数	券 面 額
6	50,000	1	1	50,000	-	-	6

(大分地方方法務局別府出張所調)

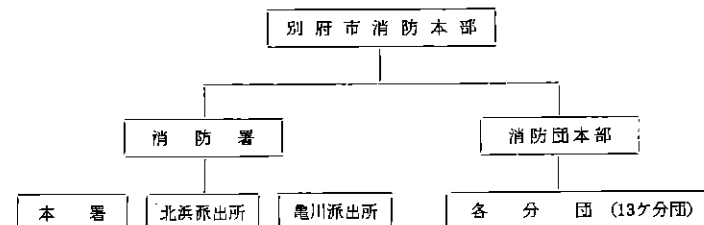
供託金年計表

昭 31. 4~昭 32. 3

種 別	前年度より越高		受 高		払 高		現 在 高	
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	
供 託 金	7,262,004	58	5,543,967	549	3,025,537	549	9,880,434	
同 利 子	-	234	43,210	234	43,210	234	-	
計	7,262,004	333	5,687,177	783	3,068,747	783	9,880,434	

(大分地方方法務局別府出張所調)

消防機構



消防署職員数

昭 32. 10 現在

職 名	消 防 長	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	消 防 士 補	そ の 他	計
実 員	市長兼(1)	1	1	4	9	29	7	6	(1) 57

消防団員数

昭 32. 10 現在

職 名	団 長	副 団 長	分 団 長	団 本 部 長	副 分 団 長	班 長	副 班 長	団 員	計
実 員	1	2	13	1	21	58	52	302	452

各種消防ポンプ数

昭 32. 10 現在

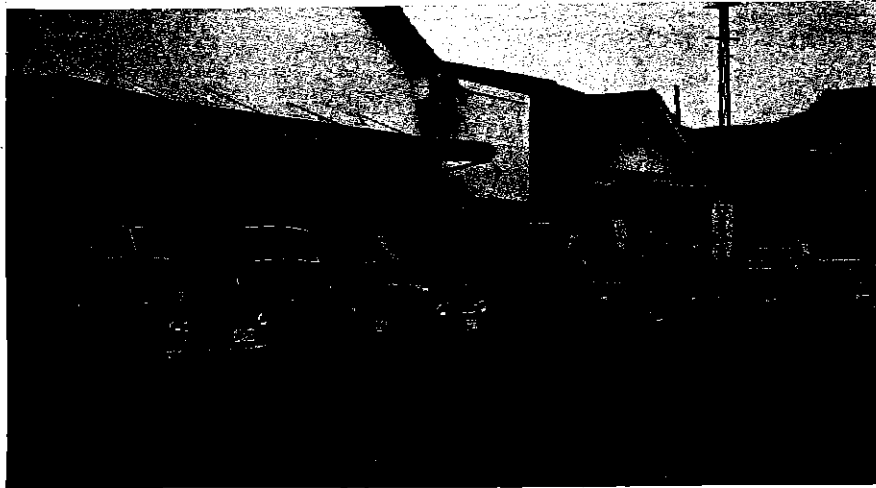
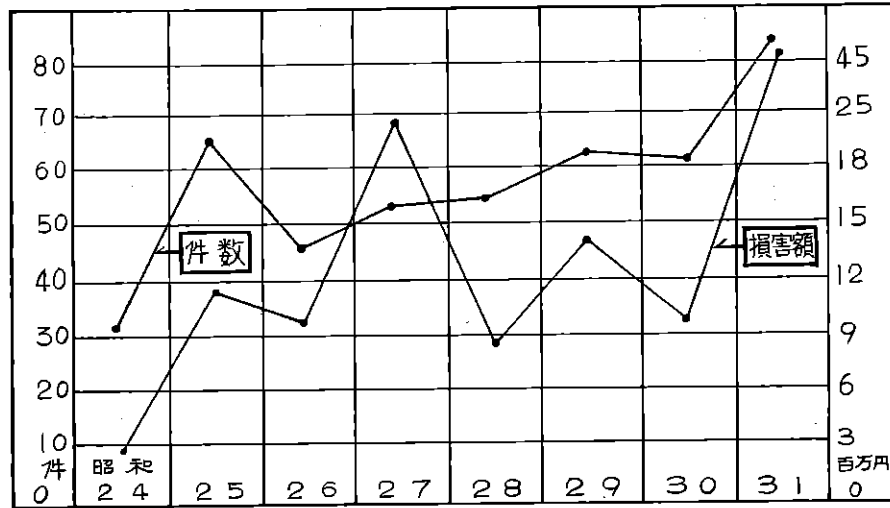
区 分	自 動 車 用 ポンプ	照 明 車	手 挽 リ ガ ン ポン プ	可 動 力 ポン プ	腕 用 ポン プ	三 輪 車 ポン プ	計
消 防 署	7	1	-	2	-	-	10
消 防 団	2	-	5	3	8	5	23
計	9	1	5	5	8	5	33

火災発生数

昭 31. 1~12

失 火		放 火		漏 電 他		罹 世		災 害	焼 坪	失 数	山 原	林 野
全 焼	半 焼	全 焼	半 焼	全 焼	半 焼	全 焼	半 焼					
棟 5	棟 3	棟 1	—	棟 4	棟 2	棟 37	棟 23	1,604.75				37町歩

累年火災発生件数及損害額



消 防 署 (本署)



竹 材 加 工 場

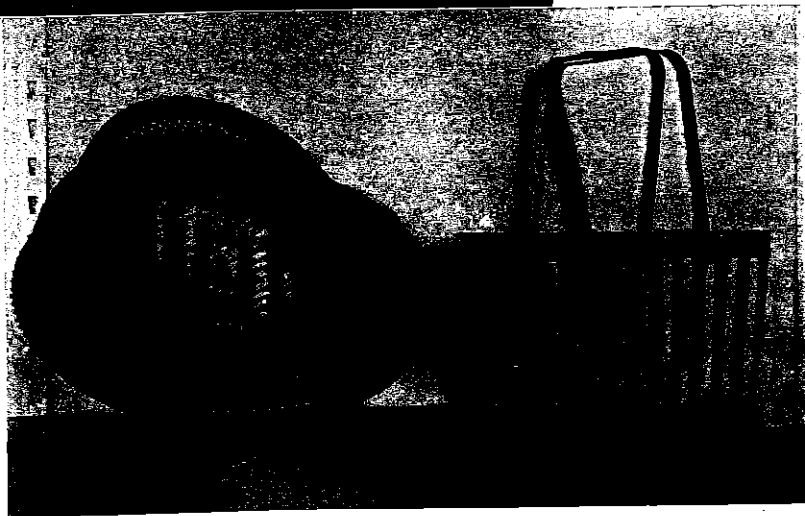
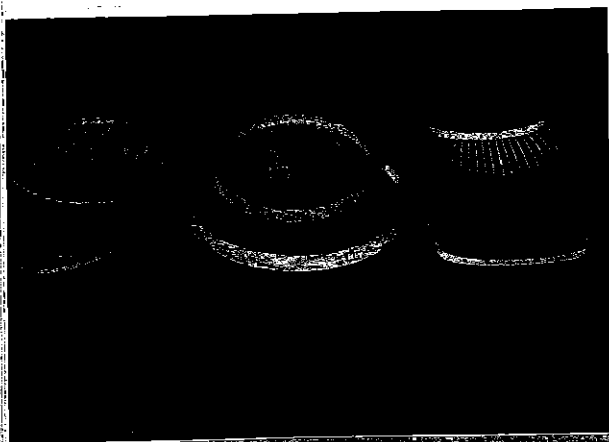
産業分類別事業所数

昭 32. 7 現在

中 分 類	事業所数	中 分 類	事業所数	中 分 類	事業所数
<b>A. 農 業</b>	2,234	出版、印刷 同関連産業	36	飲 食 料 品 小 売 業	1,257
<b>B. 林 業、狩 猟 業</b>	—	化 学 工 業	10	飲 食 店	604
<b>C. 漁 業、水 産 養 殖 業</b>	407	石 油 製 品、石 炭 製 品 製 造 業	1	自 転 車、荷 車 小 売 業	29
<b>D. 鑛 業</b>	13	皮 革 同 製 品 製 品 業	4	家 具、張 具、什 器 小 売 業	166
非 金 属 鉱 業	13	窯 業、土 石 製 品 製 造 業	16	そ の 他 の 小 売 業	581
<b>E. 建 設 業</b>	247	鉄 鋼 業	1	<b>H. 金 融、保 險 業</b>	130
総 合 工 事 業	58	金 属 製 品 製 造 業	10	銀 行、信 託 業	15
職 別 工 事 業	153	機 械 製 造 業	6	中 小 商 工、庶 民 住 宅 金 融 業	93
設 備 工 事 業	36	電 気 機 械 器 具 製 造 業	1	証 券、商 品 取 引 業	8
<b>F. 製 造 業</b>	814	輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	2	保 險 業	14
食 糧 品 製 造 業	235	計 量 器、測 定 機 医 療 機、時 計 製 造 業	2	<b>I. 不 動 産 業</b>	26
織 維 工 業	8	そ の 他 の 製 造 業	37	不 動 産 業	26
衣 服 其 他 の 織 維 製 品 製 造 業	5	<b>G. 卸 売 業、小 売 業</b>	3,307	<b>J. 輸 送、通 信 業</b>	122
木 材、木 製 品 製 造 業	381	卸 売 業	334	道 路 旅 客 運 送 業	70
家 具 装 備 品 製 造 業	44	代 理 業、仲 立 業	6	道 路 貨 物 運 送 業	37
パ ル プ、紙 紙 加 工 製 造 業	15	織 物、衣 服、身 の ま わ り 品 小 売 業	300	水 運 業	2
				航 空 運 輸 業	1

(前頁より続き)

中分類	事業所数	中分類	事業所数	中分類	事業所数
倉庫業	2	旅館、貸間、下宿その他の宿泊所	628	法務	18
運輸に付帯するサービス業	2	対個人サービス業	607	教育	62
通信業	8	対事業所サービス業	45	宗教	94
K.電気、ガス、水道業	5	自動車修理業	32	他に分類されない専門サービス業	82
電気業	3	ガレージ業	76	非営利的団体	27
ガス業	1	その他の修理業	21	その他のサービス業	6
水道業	1	映画業	164	計	9,429
L.サービス業	2,124	娯楽業	262		
		医療保健所			



市立工芸研究所の試作になる特産工芸品

農家人口と耕地面積

昭 32. 7 現在

地区	農家人口	耕地面積					計
		田	畑	果樹園	桑園	茶園	
全地区	13,529	785	216	29	—	26	1,056

経営耕地面積別農家数

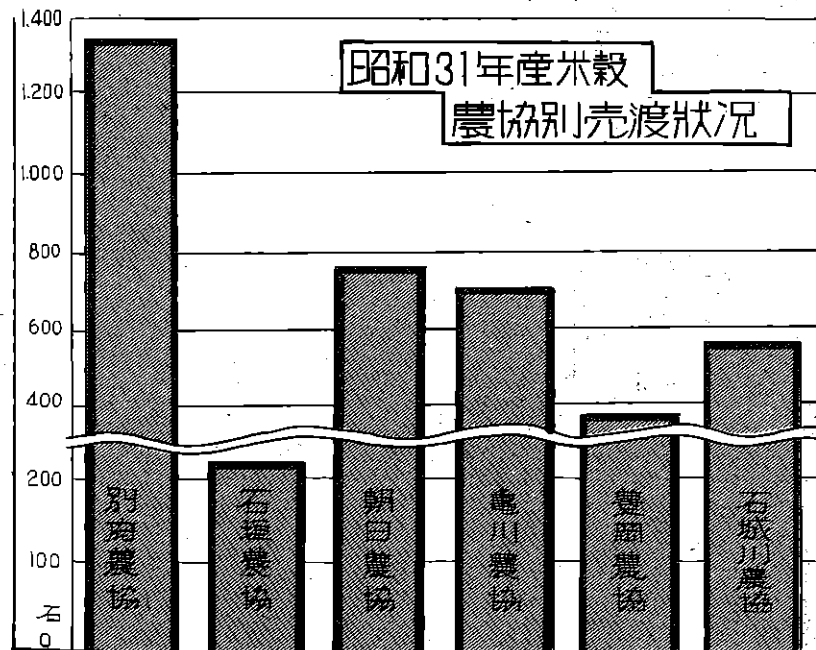
昭 32. 8 現在

地区	総戸数	経営耕地面積別						
		1反未満	1反3反	3反5反	5反1町	1町2町	2町3町	3町以上
全地区	2,234	182	575	449	821	204	3	—

畜力及機械力使用状況

昭 32. 8 現在

区分	畜力及機械力併用	畜力のみ	機械力のみ	畜力、機械力とも用いない
戸数	125	2,079	30	—



家畜飼養及生産状況

昭 32. 8 現在

区 分	種 別	役 用 牛		乳 用 牛		馬		豚		山 羊	
		戸 数	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数	戸 数	頭 数
飼 養 数		1,281	1,377	36	64	100	100	148	1,480	113	118
生 産 数		425	532	30	43	6	6	7	930	89	97

鶏		細 羊		兔		あ ひ る	
戸 数	羽 数	戸 数	頭 数	戸 数	匹 数	戸 数	羽 数
1,068	22,000	4	7	20	33	3	450
115	156千羽	—	—	10	42	2	4,000

乳、卵、肉生産高

昭 31. 9~昭 32. 8

牛 乳		山 羊 乳		鶏 卵		肉 (牛、豚)	
搾乳頭数	搾乳量	搾乳頭数	搾乳量	成鶏(メス)羽数	採卵量	肥育頭数	肉量
40	石 980	92	石 80	22,000	20,000	572	8,000



地熱利用栽培状況 (県立農事研究所)

森林所有状況

昭 32. 9 現在

林 業 世 帯 数				森 林 管 理 者 数		
専 業	兼 業	計	戸	個人有林	会社、団体有林	計
—	430	430	430	1,450	50	1,500

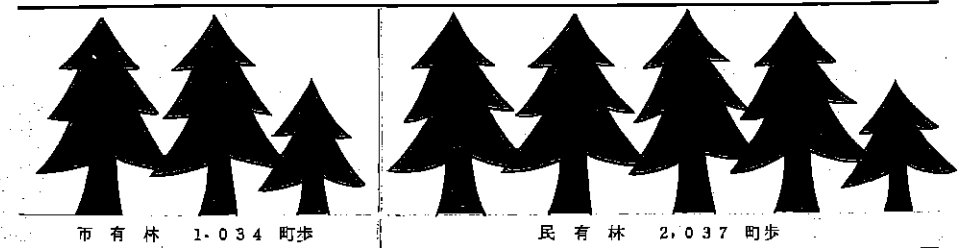
市有林、民有林 現況

昭 32. 9 現在

市 有 林							民 有 林						
区 分	年 1~10	年 11~20	年 21~30	年 31~40	年 41~50	年 51 以上	区 分	年 1~10	年 11~20	年 21~30	年 31~40	年 41~50	年 51 以上
杉	196.5	13	38.1	25	47.5	20	杉	32	65	110	30	3	—
松	20	9.2	109	129.7	—	—	松	50	25	45	10	2	—
桧	59.3	10.2	44.3	8.5	—	—	桧	80	30	50	25	25	—
樺	142.7	111.2	—	—	4	—	樺	280	90	—	—	—	—
雑木	5	—	—	—	—	—	雑木	250	230	180	45	—	—
竹	25	—	—	—	—	—	竹	380	—	—	—	—	—
觀賞樹	3	—	13	—	—	—							

森林面積

昭 32. 9 現在



民有林産物生産高

昭 31. 9~昭 32. 8

区 分	推定生産量	推定販売量	推定販売額 (円)	備 考
杉	2,075石	1,725石	2,760,000	
松	2,547石	2,097石	2,306,700	
桧	232石	200石	360,000	
雑木	2,199石	1,099石	959,200	
その他	—	—	300,000	椎茸、棕呂、その他
竹材	14,500束	14,000束	1,120,000	
薪	43,500束	43,000束	610,000	
木炭	15,500俵	15,300俵	4,590,000	

漁業者及漁船数

昭 32. 9 現在

漁家数	動力船数		無動力船数	
	5吨以下	5吨以上	5吨以下	5吨以上
407	91	2	110	—



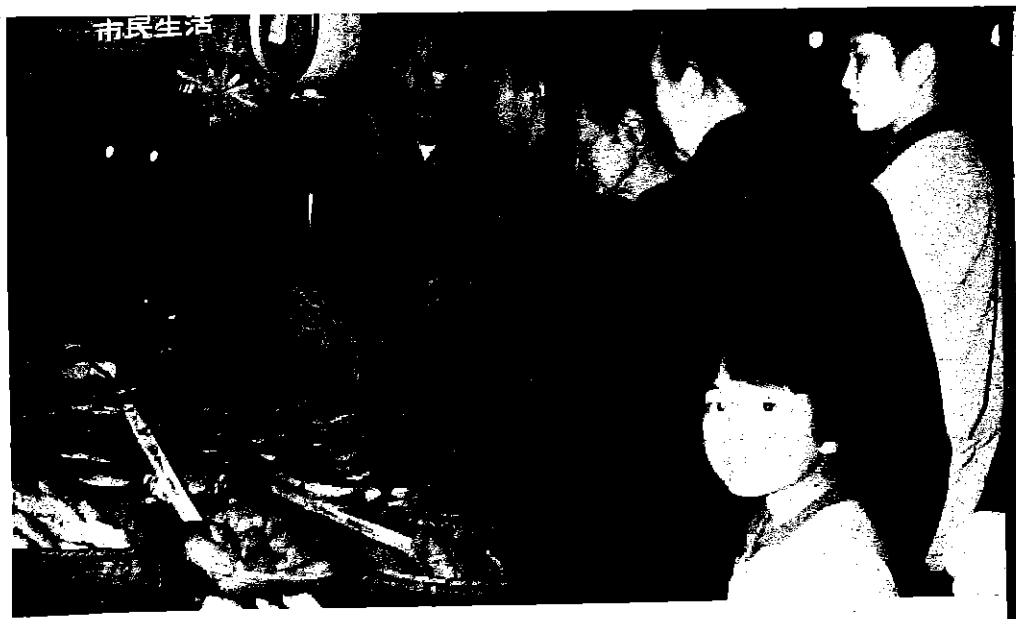
早朝の魚市場

主要魚介類取扱高 (単位貫)

昭 31. 1~12

魚介類名	数量	魚介類名	数量	魚介類名	数量
イワシ	180,740	チンキ	18,561	イカ	15,334
サバ	121,146	貝類	7,684	スズキ	1,480
ブリ	27,567	キビナゴ	16,362	アワビ、サマエ	2,558
フグ	629	イサキ	10,718	サマ	1,380
カレイ	14,309	アジ	133,559	グチ	129,891
太刀魚	26,556	エビ	11,917	小アジ	36,310
タラシ	12,738	アメタ	1,076	ハマモ	149
サワラ	930	カツオ	88	チヌ	752
ニベ	1,165	タコ	12,078	ハマチ	272
カニ	7,610	ボラ	1,971	コチ	274
カシマゴロ	8,198	ナマコ	675	カマガリ	3,324

市民生活



内地米 (単位kg)

昭 31. 4~32. 3

基本配給	希望配給	職場配給	その他		業務用	糯米	計		
消費世帯	生産世帯	消費世帯	生産世帯	事業用	個人用				
5,020,125	71,555	2,692,379	1,858	72,425	17,237	101,083	320,570	320,570	8,617,802

外米 (単位kg)

昭 31. 4~32. 3

準内地米	普通外米	計
197,440	352,705	550,145

家庭用主要食糧 (米穀) 月別配給日数

昭 31. 4~32. 3

種別	32年												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
内地米 (基本配給)	18	18	18	18	18	18	20	20	20	20	20	20	228
純内地米	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	6
外米	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
糯米	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,925kg



蔬菜果実販売数量 (単位 貫、千円)

昭 31. 4~32. 3

品目	区分	31年												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
蔬菜	数量	190,699	183,854	232,801	375,510	178,850	179,584	202,377	287,159	267,058	168,250	157,989	183,138	2,607,269
	金額	12,980	15,338	15,502	12,366	10,643	12,032	15,627	12,145	14,450	9,947	9,695	12,500	153,225
果実	数量	48,106	37,824	56,254	113,953	399,446	123,909	98,125	97,755	113,239	70,676	58,599	76,658	1,294,544
	金額	12,169	9,112	10,395	12,365	22,088	20,625	16,682	14,007	15,740	12,025	10,232	13,842	169,303

(別府青果、中央青果調)

魚介類販売数量 (単位 貫、千円)

昭 31. 4~32. 3

区分	31年												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
数量	84,598	119,301	69,959	67,492	66,637	74,682	97,588	87,677	113,953	65,302	80,912	92,372	1,020,643
金額	25,182	26,230	21,255	20,554	20,149	22,311	27,581	24,285	32,732	20,087	22,916	25,695	289,977

(別府魚市場(協)魚市場調)

屠畜頭数

昭 31. 4~32. 3

区分	31年												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
牛	102	109	90	110	120	99	131	119	156	84	88	102	1,310
馬	17	13	10	25	17	17	17	27	27	19	11	10	210
豚	94	58	36	44	59	65	79	107	137	70	129	145	1,022
牛	7	7	6	3	9	2	5	4	3	0	1	5	46
山	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	220	200	142	182	199	183	232	249	324	173	223	262	2,589

酒類販売数量 (単位 石)

昭 31. 4~32. 3

区分	31年												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
数量	1,858	1,799	1,585	1,408	1,665	1,400	1,519	1,377	1,761	1,537	1,401	1,668	18,978

(別府稅務署調)

酒類別販売数量 (単位 石)

昭 31. 4~32. 3

区分	清酒	合成酒	味淋	焼酎	雑酒	麦酒	果実酒	計
数量	7,515	1,059	37	9,558	531	6,267	11	18,978

(別府稅務署調)

煙草種別販売数量

昭 31. 4~32. 3

種別	販売数量	金額	種別	販売数量	金額
朝日	1,320,400	1,822,152	パツト	24,937,600	34,413,888
富士	508,750	2,340,250	ききよう	1,916,400	3,526,176
ビース	13,879,400	51,076,192	みのり	1,992,150	2,749,167
光	12,914,400	35,643,744	富貴煙	56,300	8,445
パール	4,513,900	12,458,364	桃山		
いこい	44,901,000	103,272,300	日光		27,2228
新生	57,110,700	105,083,688	アストリア		

(日本専売公社別府出張所調)

電 灯

昭 31. 4~32. 3

種別	定額	従量	大口	臨時	計
契約口数	4,745	18,549	355	95	23,744
契約灯数	9,841	168,146	2,891	366	178,333灯 2,891W
電力量	1,555,814	10,788,436	2,948,852	43,840	15,336,942
料 金	18,112,902	122,320,395	32,275,434	517,312	177,226,043

註 契約口数及び契約灯、KW数は昭32.3末現在数

(九電KK別府営業所調)

電 力

昭 31. 4~32. 3

種別	業務用	小口未満	小口以上	臨時	計
契約口数	13	822	9	34	878
契約KW数	851	3,457	1,040	280	5,628
電力量	3,466,335	2,910,183	2,484,791	125,353	9,936,662
料 金	27,594,055	27,776,739	19,371,522	1,441,827	76,183,943

註 電灯、電力は別府営業所管内(別府市、日出町)需量数を対象とした

(九電KK別府営業所調)

ガ ス (単位 立方米)

昭 31. 4~32. 3

種別	家庭用	工業用	医療用	商業用	その他	計
供給戸数	2,321	2	56	353	8	2,740
全孔数	4,642	38	168	882	28	5,758
供給量	1,021,720	49,938	84,775	556,025	10,796	1,723,254

(別府瓦斯KK調)

水道用地

昭 32. 11 現在

区 分	水 源	用 地	地 面 <sup>m<sup>2</sup></sup>	
別 府	乙 原	貯 水 池 用 地	20,192.7	
		水 源 保 護 地	12,688.5	
	站 返	站 返 聚 合 用 地	3,032.7	
		站 返 貯 水 用 地	10,929.6	
		站 返 淨 水 場 用 地	22,301.7	
		朝 見 淨 水 場 用 地	19,955.1	
	朝 見	朝 見 揚 水 場 用 地	547.8	
		配 水 池 用 地	8,494.2	
	亀 川	龜 温 水	水 源 池 用 地	7,719.0
			減 圧 弁 据 付 用 地	3.3
羽 室		配 水 池 用 地	937.2	
朝 日	湯 山	配 水 池 用 地	9,768.0	
		水 源 池 用 地	9,477.6	
石 垣	春 木 川	配 水 池 用 地	10,890.0	
		冥 相 寺	配 水 池 用 地	49.5
合 計	送 配 水 管 路 敷 設 用 地		20,027.7	
			156,984.3	



朝見淨水池

水 道

本市が初めて上水道を計画したのは、大正2年で給水人口25,000人を目標とし、大正6年3月竣工した。  
 その後大正15年2月の才一期工事により人口75,000人まで給水可能となつたが、本市の発展に伴い人口の増加、昭和10年の一町二村の合併、観光療養客来別の逐次増加等により給水能力に不足を来し新に人口10,000人に対して給水し得る計画を樹て昭和17年起工、昭和22年に竣工を見た。次いで昭和25年7月、本市が国際観光法の適用を受けることになり、こゝに大別府市の都市計画と並行し上水道の施設も拡充を痛感して、総人口123,000人給水人口91,000人を目標に計画を樹立し、昭和29年12月才四回拡充工事が完了した。又終戦直後から駐留軍に転用されていた站返水源は市に無償譲与され、こゝに市民への給水は万全を期することを得た。

水 量

昭 31. 4~32. 3

区 分	配 水 総 量	一 日 使 用 量	一 日 一 人 当 り 使 用 量
別 府 地 区	7,311,758 <sup>m<sup>3</sup></sup>	20,032 <sup>m<sup>3</sup></sup>	0.282 <sup>m<sup>3</sup></sup>
北 石 垣 上 人 地 区	108,000	295	0.228
柴 石、野 田、羽 室 地 区	36,500	100	0.250
亀 川 地 区	1,071,161	2,935	0.319
朝 日 地 区	365,446	1,001	0.477
計	8,892,855 <sup>m<sup>3</sup></sup>	24,363 <sup>m<sup>3</sup></sup>	0.290 <sup>m<sup>3</sup></sup>

主要工事一覧表

工 種	施 設 名 称	起 工 年 月 日	竣 工 年 月 日	工 費	計 画 給 水 人 口
創 設 (旧別府町)	乙 原 水 源 池	大正 2. 11. 25	大正 6. 3. 27	373,560 <sup>円</sup>	25,000 <sup>人</sup>
才 一 回 拡 強 工 事	站 返 同 上	" 15. 2. 6	昭 和 3. 3. 31	502,590	75,000
才 二 回 "	温 水 水 源 池	昭 和 17. 1. 19	" 22. 3. 30	1,601,870	10,000
創 設 (旧亀川町)	湯 山 "	" 7. 12. 22	" 9. 3. 31	83,940	6,500
" (旧朝日村)	" "	" 2. 9. 14	" 3. 4. 20	32,188	2,400
才 三 回 拡 強 工 事	朝 見 川 揚 水 場	" 23. 4. 8	" 23. 11. 30	4,621,310	取水計画一昼夜 5,500 <sup>m<sup>3</sup></sup>
才 四 回 "	温 水 水 源 池	" 26. 3. 23	" 29. 10. 16	128,074,961	91,000

給水栓数

昭 32. 3 現在

区 分	専用私設共用	公 設	温 泉	船 舶	消火栓	計	給水戸数	
							戸	人
別 府	7,737	259	55	5	153	8,209	16,677	70,210
亀 川	1,702	39	13	—	—	1,754	2,690	11,325
朝 日	398	11	3	—	—	412	546	2,299
計	9,837	309	71	5	153	10,375	19,913	83,834

使 用 料

昭 31. 4~32. 3

区 分	専用私設共用	公設共用	温 泉	船 舶	量水器	計
別 府	44,683,789	1,036,950	1,805,192	1,322,145	2,112,090	50,962,166
亀 川	4,539,519	184,206	132,272	—	414,460	5,270,457
朝 日	1,648,521	39,359	41,064	—	98,970	1,828,414
計	50,871,829	1,260,515	1,978,528	1,322,145	2,625,520	58,061,037

消 火 栓 数

昭 32. 3 現在

区 分	旧市内	亀 川	朝 日	石 垣	計
7 5 mm	506	62	26	33	627

映画館及び劇場

昭 32. 11 現在

種 別	名 称	定員	場 所	種 別	名 称	定員	所 在
映 画	日活国際	1,019	別府市駅前通り	映 画	兩 映	134	浜 町
"	別府大映	624	羽衣町	"	新 映	102	駅前通り
"	松原東映	456	松 原	"	名 画 座	178	流 川
"	松 栄 館	726	"	"	名 映	76	秋葉通り
"	別府 ロマン	457	本 町	"	ニコニコ館	164	本 町
"	松竹 ロマン	396	弥生町	"	羽衣松竹	126	羽衣町
"	为三 ロマン	406	楠 町	"	亀川東映	231	亀 川
"	別府東映	389	駅前通り	"	亀川松竹	206	"
"	別府日劇	395	中浜通り	"	鉄 輪 館	237	鉄 輪
"	ブルーバード	504	駅前通り	演 劇	松 濤 館	800	松 原
"	シネマパレス	74	"	"	亀 川 館	498	亀 川
"	花 月 館	214	松 原	"	大 勝 館	362	鉄 輪



生活保護法 (単位 千円)

昭 31. 4~32. 3

種 別	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費	計
実世帯数	669	389	274	468	6	2	53	—	1,861
実人員	1,690	1,106	550	535	6	2	53	—	3,942
支出金額	15,590	1,748	2,468	32,904	13,602	5,930	200	2,337	74,779

行 路 病

昭 31. 4~32. 3

種 別	行路病人		行路死亡人		計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
員 数・金 額	55	404,988	13	39,957	68	444,945

母子福祉資金 (単位 千円)

種 別	生業資金	継続資金	技能修得資金	修業資金	修学資金	支度支金	住宅補修金
件 数	54	77	1	2	75	5	3
支出金額	1,855	7,210	9	27	2,283	70	75

未復員者及特別未帰還者留守家族に対する給與

昭 31. 4~32. 3

実 世 帯	実 人 員	金 額
46	84	1,761,936

身体障害者補装具交付件数

昭 31. 4~32. 3

種 別	区分	件数	金 額	種 別	区分	件数	金 額
下 腿 義 足	交付	8	114,490	盲人安全杖 (夜)	交付	12	4,580
"	修理	11	33,080	松 葉 杖	交付	4	3,442
大 腿 義 足	交付	3	47,760	補 助 ス テ ッ キ	交付	5	2,250
"	修理	7	23,737	補 聴 器	交付	12	101,464
腰 椎 コ ル セ ッ ト	交付	1	8,140	"	修理	2	2,400
義 手	交付	1	10,925	平 椅 子	交付	1	22,000
"	修理	2	7,080	"	修理	4	36,580
靴 形 装 具	交付	3	23,420	関 節 用 装 具	交付	3	23,640
"	修理	1	2,200	断 端 袋	交付	2	1,736
盲人安全杖 (昼)	交付	2	640	眼 鏡	交付	3	2,850

公 営 住 宅

昭 31. 4~32. 3

種 別	戸 数	収 容 人 員
庶 民 住 宅	98	487
災 害 住 宅	82	402
引 揚 者 住 宅	107	411
母 子 住 宅	20	59
計	307	1,359

募 金 状 況

昭 31. 4~32. 3

目 標 額			実 績 額		
総 額	共同募金	日赤募金	総 額	共同募金	日赤募金
円 2,754,040	円 1,531,040	円 1,223,000	円 2,682,840	円 1,459,840	円 1,223,000

引揚復員関係

引 揚 復 員		一 般 邦 人 未 引 揚 者			未 復 員					
世帯数	人 員	ソ連地区	中共地区	その他	計	ソ連地区	中共地区	その他	計	
2,027	3,631	1,797	62	13	6	87	52	7	4	63

自衛隊応募及び合格者

昭 31. 4~32. 3

種 別	一 次	二 次	計
応 募 者 数	138	86	241
合 格 者 数	44	-	-

育 児 事 業 所

昭 32. 11 現在

名 称	経 営 主 体	職 員	収 容 実 人 員	所 在 地
別府小百合保育園本園	福 社 法 人	27	98	浦 田 町
" 分 園	"	30	145	上 原 区
光 の 園 白 菊 寮	"	7	45	莊 園 町
栄 光 園	"	9	51	"
平 和 園	"	6	34	上 野 口

養 老 事 業 所

昭 32. 11 現在

名 称	経 営 主 体	職 員	収 容 実 人 員	所 在 地
別 府 養 老 院	福 社 法 人	9	66	富 士 見 区
紅 葉 寮	"	9	47	山 家

保 育 事 業 所

昭 32. 11 現在

名 称	経 営 主 体	職 員	収 容 実 人 員	所 在 地
別 府 中 央 保 育 所	別 府 市	11	150	南 末 広 町
別 府 隣 保 婦	個 人	8	130	文 武 通
さくらんぼ保育園	財 団 法 人	5	52	南 野 口
聖 人 保 育 園	個 人	4	30	上 人 町
亀 川 保 育 園	個 人	5	50	亀 川 中 町

そ の 他 事 業 所

昭 32. 11 現在

名 称	経 営 主 体	職 員	収 容 実 人 員	事 業 名	所 在 地
別 府 厚 生 館	大 分 県 福 祉 会	2	世帯 12	児 童 福 祉 施 設	不 老 町
別 府 厚 生 館 新 寮	"	3	6	母 子 寮	南 区

失業保険業務取扱状況

昭 31. 4~32. 3

	職 票 受付件数	初回受給資 格認定件数	待 満了者数	期 初 受 給 者 数	回 受 給 者 数	保 険 金 給 付 の 失 業 週 数	保 険 金 給 付 総 額	委 嘱 され た 件 数	給 付 制限件数		
昭和31 4月	137	137	123	113	113	2,986	4,926,180	50	144		
5月	197	197	197	159	159	3,233	5,472,485				
6月	131	131	149	142	142	3,198	5,366,015				
7月	423	423	302	252	252	3,420	5,765,105				
8月	231	231	307	318	318	4,510	8,310,575				
9月	361	361	404	329	329	4,702	9,210,420				
10月	106	106	112	121	121	5,374	11,461,550			33	152
11月	166	166	112	89	89	4,748	12,876,210				
12月	74	74	132	117	117	5,149	11,971,957				
昭和32 1月	118	118	95	106	106	4,689	12,184,595			31	159
2月	90	90	99	80	80	3,300	8,233,410				
3月	56	106	90	103	103	2,716	5,835,365				
計	2,090	2,140	2,122	1,930	1,930	48,031	101,613,825	114	455		

別府公共職業安定所調

臨時日雇求人就職状況

	求 人 数	就 職 数	職	
			民間事業	官公事業
昭和31 4月	19,004	19,002	1,187	17,815
5月	8,848	18,848	1,705	17,143
6月	14,375	14,375	909	13,466
7月	18,523	18,104	1,395	16,709
8月	19,449	18,879	1,642	17,237
9月	18,960	16,108	756	15,352
10月	21,158	19,792	2,357	17,435
11月	21,176	18,177	1,488	16,689
12月	25,386	24,545	1,548	22,997
昭和32 1月	17,781	17,942	810	17,132
2月	21,216	16,672	1,478	15,194
3月	21,506	24,088	3,023	21,065
計	227,582	226,532	18,298	208,234

別府公共職業安定所調

常用臨時求人就職

	求 人			就 職		
	総 数	民間事業	その他	総 数	民間事業	その他
昭和31 4月	270	264	6	290	295	1
5月	247	241	6	250	250	0
6月	387	348	39	264	238	26
7月	319	312	7	254	254	0
8月	464	374	90	376	289	87
9月	358	356	2	271	270	1
10月	554	520	34	331	327	4
11月	464	449	15	470	459	11
12月	508	353	155	563	395	168
昭和32 1月	1,440	900	540	763	904	159
2月	878	815	63	1,180	1,117	63
3月	1,169	964	205	1,211	1,022	189
計	7,058	5,896	1,162	6,229	5,520	709

別府公共職業安定所調

市営失業対策事業稼働状況

	総 数			公共空地	街 路	埠 水	環 境	資 材
	総 数	男	女					
昭和31 4月	11,640	9,338	5,302	4,907	2,058	2,289	1,143	1,243
5月	11,199	6,168	5,031	5,042	1,781	2,146	1,064	1,167
6月	9,303	5,099	4,204	3,590	1,855	1,873	751	1,234
7月	10,360	5,880	4,480	3,186	2,948	2,242	850	1,134
8月	9,432	5,220	4,212	2,466	2,320	2,430	856	1,360
9月	10,458	5,902	4,556	6,107	1,386	1,363	1,194	408
10月	10,786	5,901	4,885	4,632	2,223	1,842	1,057	1,032
11月	9,107	4,880	4,227	2,557	2,618	2,042	828	1,062
12月	13,850	7,341	6,509	3,137	5,450	2,056	1,402	1,805
昭和32 1月	9,669	5,274	4,395	2,449	3,245	1,948	798	1,229
2月	10,258	5,656	4,602	2,841	3,158	1,659	1,053	1,547
3月	12,236	6,634	5,602	5,067	3,339	2,158	1,107	655
計	128,388	70,293	58,095	45,981	32,380	24,048	12,103	13,876

別府公共職業安定所調

昭和30年度及び31年度業務取扱状況

	新規求人		新規求職		(イ) 求職中の失業者		(イ) 一般の内に就職した者	
	30年度	31年度	30年度	31年度	30年度	31年度	30年度	31年度
	4月	312	270	807	600	4,019	4,390	289
5月	214	247	747	672	4,013	4,150	222	250
6月	242	387	925	626	3,824	3,762	202	264
7月	447	319	940	1,032	4,060	4,011	340	254
8月	342	464	727	947	3,790	4,208	223	376
9月	393	356	828	895	3,651	4,565	231	271
10月	405	554	580	685	3,653	4,246	232	331
11月	177	464	460	701	3,561	3,975	169	470
12月	211	508	522	659	3,676	3,817	184	563
1月	511	1,440	1,549	2,304	4,611	5,382	132	763
2月	525	878	558	2,244	4,785	6,534	516	1,180
3月	411	1,169	609	1,824	4,582	6,466	367	1,211
計	4,199	6,958	9,252	13,189	48,425	55,504	3,304	6,229

別府公共職業安定所調

	(イ)の内日雇に就職した者		(イ)の内失業保険を受ける者		その他の失業者	
	30年度	31年度	30年度	31年度	30年度	31年度
	4月	1,025	947	1,911	905	1,395
5月	1,016	1,015	1,242	889	1,357	1,996
6月	1,017	1,000	1,546	879	1,255	1,619
7月	1,060	1,043	1,419	1,035	1,235	1,679
8月	1,007	1,029	1,303	1,212	1,267	1,571
9月	933	1,122	1,228	1,414	1,458	1,759
10月	953	1,174	1,183	1,375	1,285	1,361
11月	1,127	1,104	1,129	1,311	1,136	1,090
12月	977	1,104	1,080	1,249	1,433	901
1月	1,027	1,029	1,090	1,202	2,162	2,388
2月	927	1,047	1,059	933	2,283	3,374
3月	1,123	1,046	1,043	861	2,049	3,328
計	12,199	12,720	14,635	13,285	16,319	23,308

別府公共職業安定所調

安定所への来所

	31年												32年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
常用新規求職者数	600	672	626	1,032	947	895	685	701	659	2,304	2,244	1,824	13,189			
常用求職者の再来	3,581	3,638	3,704	4,372	5,267	4,921	6,066	5,418	5,325	4,970	3,684	3,472	54,633			

別府公共職業安定所調

産業別、男女別、単位労働組合組織状況

組合数	建設業		製造業		卸小売業		運輸通信及び公益事業		サービス業		公務		計
	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数			
	男	2	363	2	17	2	19	15	1,250	7	555	7	
女		381		0		5		531		376		491	1,789
計		744		17		24		1,786		931		1,443	4,945

大分県労政事務所調

適用法規別単位労働組合組織状況

組合数	労組法適用組合		公企労法適用組合		地方公労法適用組合		国公法適用組合		地公法適用組合	
	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数
	男	19	1,310	6	579	1	15	5	288	5
女		816		222		0		284		467
計		2,126		801		15		572		1,401

大分県労政事務所調

労働協約締結状況

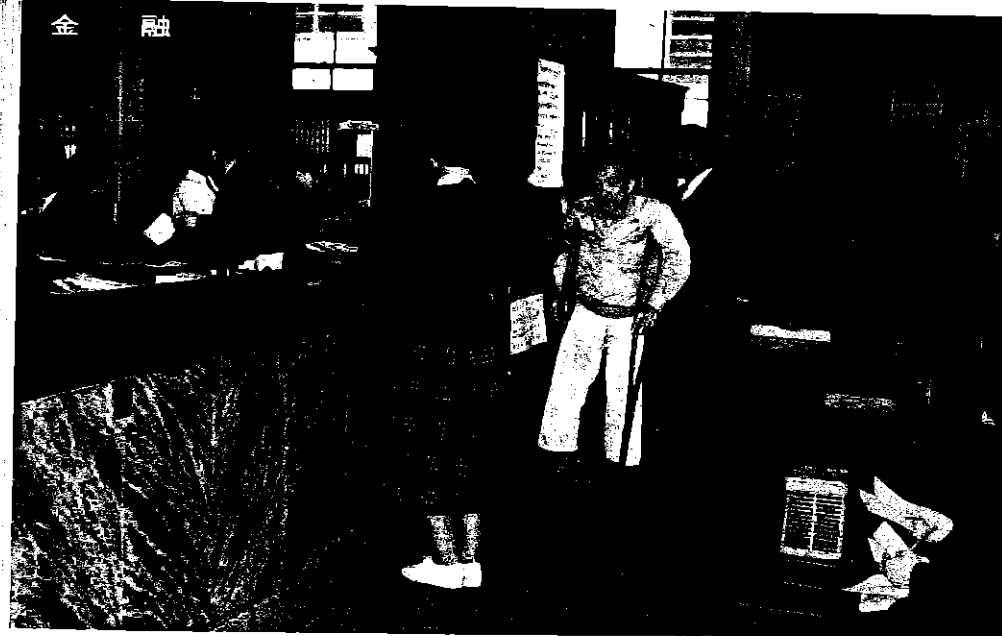
	締結可能なもの		締結しているもの		無協約のもの		締結率	適用率
	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数		
独自交渉	14	940	5	140	9	600	35.71%	14.89%
上級組合交渉	12	2,002	11	1,292	1	710	91.66%	64.54%
計	26	2,942	16	1,432	10	1,510	61.54%	43.67%

大分県労政事務所調

無協約状況

無 協 約		設立以来締結したことなし		締結したが現在無効	
組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数
10	1,510	8	957	2	553

大分県労政事務所調



銀行貸付 (単位 千円)

昭 31. 4~32. 3

区分	手形貸付	証券貸付	当座貸付	割引手形	貸出合計	現金在高	預ケ金
昭和31							
4月	827,754	33,663	5,770	179,015	1,046,202	136,816	706
5月	810,208	32,889	6,597	176,300	1,025,994	101,479	2,903
6月	809,543	32,328	6,051	183,633	1,031,555	115,411	10,170
7月	833,842	31,526	7,606	182,446	1,055,420	127,794	10,256
8月	863,026	31,294	6,841	180,189	1,111,350	167,254	9,049
9月	887,712	29,266	8,639	196,918	1,122,535	187,435	550
10月	895,006	29,265	8,016	189,027	1,121,314	138,010	9,047
11月	914,587	29,759	7,480	197,507	1,149,333	129,329	26,198
12月	1,066,178	29,754	6,207	235,650	1,332,704	153,198	208
昭和32							
1月	1,025,635	70,577	8,183	229,885	1,334,280	159,948	9,631
2月	1,072,778	29,725	7,801	231,560	1,341,864	134,559	11,771
3月	1,167,150	27,604	8,229	227,637	1,430,620	181,949	2,251
計	11,203,419	40,765	87,420	2,404,682	14,103,171	1,733,182	92,740

大分県銀行協会調

金融機関

昭 32. 11 現在

普銀	通銀	信金	用庫	相互	郵便局	農業協同	生命保	火災海上	証券	質屋
10	5	5	10	4	7	11	8	78		

銀行預金 (単位 千円)

昭 31. 4~32. 3

区分	当座預金	普通預金	通知預金	納税準備預金	税 定期及 据置預金	定期預金	その他預金	計
昭和31								
4月	253,116	820,039	41,533	4,408	1,222,172	276,076	25,497	2,642,841
5月	242,944	844,461	21,488	5,320	1,245,763	273,476	25,086	2,658,538
6月	260,526	834,885	29,027	5,884	1,245,005	282,538	29,368	2,687,233
7月	252,159	841,501	25,032	4,973	1,269,609	286,777	25,069	2,705,120
8月	316,834	824,903	33,497	4,408	1,296,488	283,884	24,863	2,784,877
9月	261,447	823,109	32,195	4,840	1,306,577	283,087	44,844	2,756,099
10月	257,954	873,882	38,846	5,067	1,317,134	290,790	30,837	2,814,510
11月	281,444	817,470	31,622	4,828	1,343,436	296,638	56,435	2,831,873
12月	347,500	816,192	42,419	3,718	1,363,128	292,011	44,648	2,909,616
昭和32								
1月	315,359	845,371	43,684	4,066	1,383,158	296,465	43,036	2,931,139
2月	342,357	817,266	39,898	4,394	1,387,641	285,685	32,183	2,909,426
3月	393,077	856,216	51,375	4,319	1,432,159	285,421	19,541	2,982,108

大分県銀行協会調

信用金庫、相互銀行諸勘定 (単位 千円)

昭 31. 4~32. 3

	当座預金	普通預金	通知預金	納税準備預金	定期預金	定期積金	相互樹金	政府関係預金	その他	計
昭和31										
4月	68,762	344,235	7,964	7,535	602,252	233,850	708,608	2,800	13,884	1,989,890
5月	75,135	361,715	2,745	8,842	627,718	233,091	702,830	2,800	14,810	2,030,686
6月	72,510	365,539	1,948	9,241	647,296	232,775	708,908	2,800	22,181	2,063,228
7月	79,521	350,465	3,079	8,226	667,265	239,696	720,194	2,800	17,565	2,088,831
8月	75,104	339,889	2,584	7,715	679,783	246,159	718,575	2,800	11,612	2,084,301
9月	105,093	338,593	5,208	7,792	519,594	422,689	720,237	2,800	11,032	2,133,038
10月	88,587	343,888	2,882	8,736	692,176	256,928	717,885	2,800	15,843	2,129,725
11月	80,298	337,365	2,759	7,094	709,466	258,133	722,540	2,800	11,338	2,131,783
12月	100,464	346,523	1,843	6,464	764,391	261,450	722,431	2,800	14,399	2,220,765
昭和32										
1月	68,082	356,675	2,542	7,338	771,263	256,532	737,088	2,800	14,044	2,216,364
2月	79,723	363,793	4,373	7,714	787,776	252,210	744,535	2,800	15,787	2,258,711
3月	95,613	399,759	5,594	6,866	809,393	256,615	742,895	2,800	23,805	2,343,340

大分県銀行協会調

信用金庫、相互銀行諸勘定 (単位 千円)

昭 31. 4~32. 3

	手形貸付	証券貸付	当座貸越	割引手形	給付金	計	現金	預ケ金	有価証券
昭和31									
4月	1,048,723	15,152	3,909	62,319	488,478	1,618,582	37,682	37	160,014
5月	1,067,894	15,507	3,521	65,195	481,918	1,634,035	37,090	47	163,120
6月	1,096,493	15,966	3,511	67,258	482,053	1,665,261	43,979	57	16,563
7月	1,127,261	20,032	3,372	66,136	490,750	1,707,571	34,077	62	167,140
8月	1,151,603	22,030	3,592	70,415	495,868	1,743,508	32,904	62	167,151
9月	1,148,500	23,134	3,788	68,733	503,133	1,747,288	50,645	67	209,136
10月	1,167,293	23,693	3,544	70,173	525,259	1,789,962	92,684	77	209,278
11月	1,194,983	24,741	3,104	71,063	534,373	1,828,264	34,431	86	205,339
12月	1,271,228	25,260	3,184	73,407	551,066	1,924,145	68,886	298	195,339
昭和32									
1月	1,252,597	25,104	3,462	75,678	548,976	1,905,817	42,739	304	166,094
2月	1,277,947	25,377	3,493	79,405	541,448	1,927,670	51,914	304	196,153
3月	1,313,044	23,597	3,524	80,244	544,282	1,964,691	65,093	35	196,213

大分県銀行協会調

農業協同組合諸勘定 (単位 千円)

昭 31. 4~32. 3

	組合員数	借入金	預金	貸付金
昭和31				
4月	1,289	6,617	12,459	5,476
5月	1,290	8,714	11,460	6,614
6月	1,290	8,370	11,605	6,947
7月	1,290	7,670	18,410	7,557
8月	1,300	7,081	14,438	6,485
9月	1,300	6,911	13,822	6,229
10月	1,300	8,321	13,980	6,143
11月	1,302	7,015	18,260	5,513
12月	1,302	4,419	18,675	4,124
昭和32				
1月	1,302	3,741	17,327	3,986
2月	1,304	3,711	16,598	4,174
3月	1,365	3,691	15,903	4,933

別府、亀川、石垣、朝日農協調

保健衛生



赤ちやんコンクール

医療保健調

昭 32. 10. 1 現在

分類	事業所数	組織別					従業者数
		個人	法人	法人でない団体	公	宮	
診療所	141	128	5	2	6	251	
病院	20	7	6	—	7	682	
療術業	14	14	—	—	—	234	
保健所	1	—	—	—	1	40	
助産婦業	58	58	—	—	—	58	
獣医業	5	5	—	—	—	5	
総計	239	212	11	2	14	1,270	

別府保健所調

医療関係従事者数

昭 32. 10. 1 現在

区分	登録数	病院勤務	その他の勤務	従業せず
医師	231	148	82	1
歯科医師	66	11	52	3
獣医師	10	—	5	—
薬剤師	110	23	80	7
栄養師	130	20	1	—
助産婦	58	44	14	—
看護婦	530	511	19	—
保健婦	10	—	10	—
線技師	22	20	2	—
衛生師	4	—	4	—
柔道整復術師	22	—	22	—
あんま、はり、きゅう	234	13	221	—
療術師	5	—	5	—

別府保健所調



予防接種実施状況

昭 31. 4~32. 3

区 分	種 痘	腸。バラチブス	百 日 咳	ジフテリヤ
該 当 人 員	6,325人	86,290人	2,200人	6,325人
接 種 完 了 者	5,155	22,677	1,052	5,477
接 種 率 %	81.5%	21.5%	47.8%	85.0%

消 毒 状 況

昭 31. 4~32. 3

区 分	公 共 用 施 設		個 人 用 施 設	
	人頭(戸)数	床 面 積	人頭(戸)数	床 面 積
粉末ダスティング	465人	249坪	2,174人	45坪
液体スプレイング	1,407戸	4,602坪	1,159戸	1,117坪

消 毒 回 数

昭 31. 4~32. 3

場 所	市 区 公共温泉	官公署及 社会施設	劇 場 興 業 場	バス及 ハイヤー タクシー	そ の 他	総 数
	1,224	672	536	2,160	2,536	7,28



塵芥場消毒状況

埋 火 葬 状 況

昭 31. 4~32. 4

区 分	火 葬			埋 葬			
	市 民	非 市 民	死 産	男	女	死 産	
総 数	1,509	736	158	190	86	80	259

狂犬病予防状況

昭 31. 4~32. 3

登 録 頭 数	予 防 注 射 済 数	捕 獲 数	処 分 数	鑑 札 再 交 付 数
2,636匹	4,094匹	590匹	522匹	64匹

屠 殺 状 況

昭 31. 4~32. 3

年 別	区 分	牛	馬	豚	犏	仔 馬	計
昭 和 30 年 度		1,310	210	1,017	46	2	2,585
昭 和 31 年 度		1,597	191	835	81	3	2,707

塵 芥

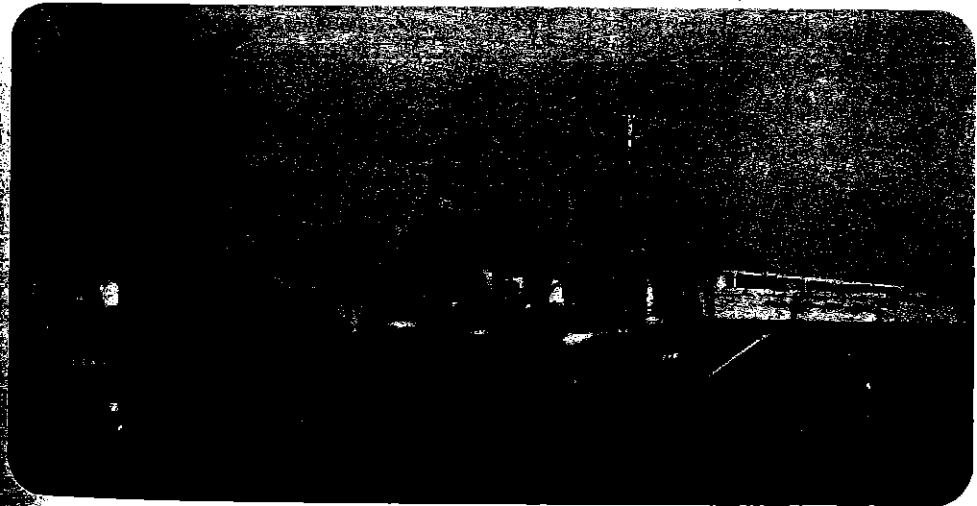
昭 31. 4~32. 3

車 輛 数			塵 芥 搬 出 量	対 象 戸 数	搬 出 人 1人当戸数
普通自動車	三輪自動車	計			
4台	7台	11台	11,222吨	20,461世帯	620世帯

尿 尿

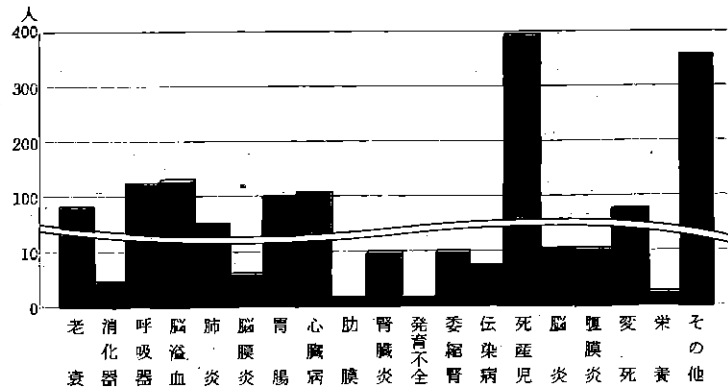
昭 31. 4~32. 3

車 輛 数			し 尿 搬 出 量			対 象 戸 数	搬 出 人 1人当戸数				
市	業 者		市	業 者							
真空式普通 タンク車	業者数	普通タンク 二輪車	市貯溜 槽入	農 家 元	計	市貯溜 槽入	農 家 元	計	世 帯	世 帯	
5台	1台	10台	16台	9,021石	60,678石	69,699石	60,678石	52,997石	113,346石	18,908	590



塵芥、尿尿車

病名別死亡者



法定傳染病発生及び死亡年次数

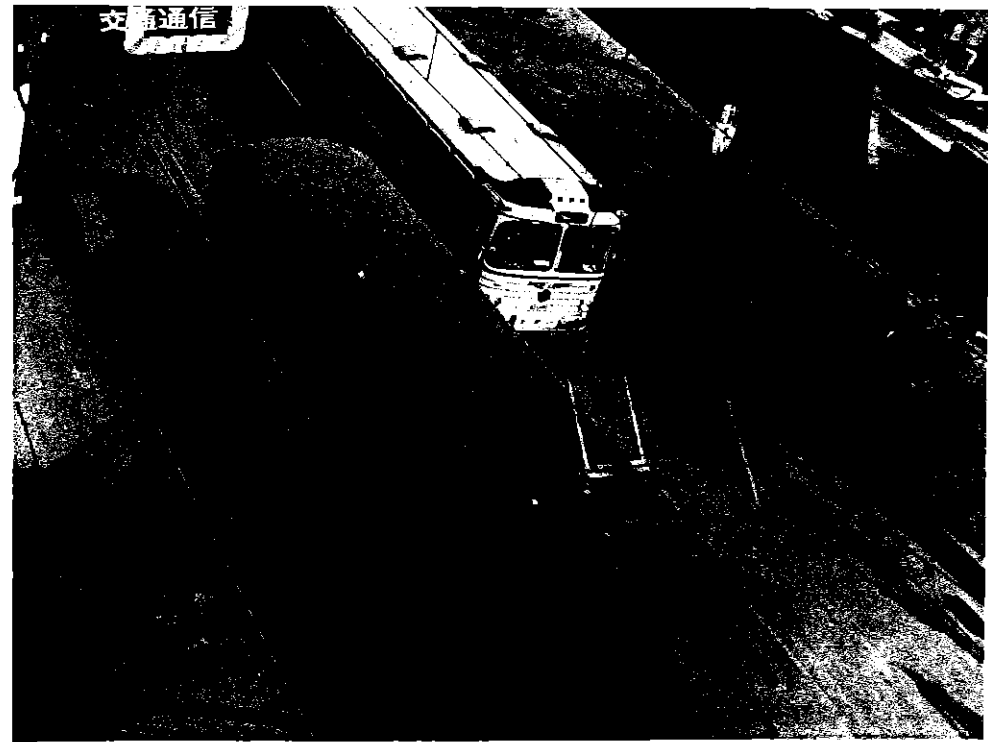
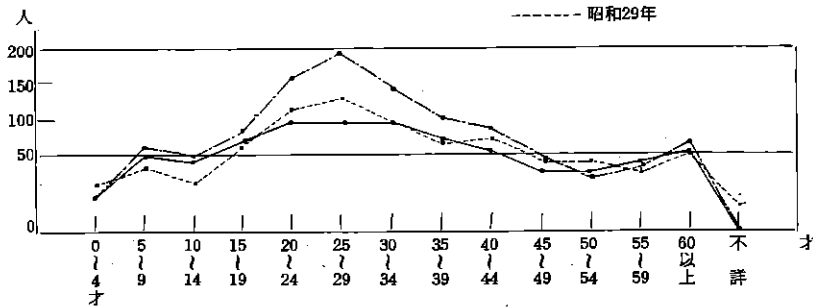
年別	赤痢	日本脳炎	腸チフス	パラチフス	チフテリア	猩紅熱	流脳	計
昭和29年	(8) 237	1	4	1	14	2	2	(8) 261
昭和30年	(4) 46	4	1	3	2	1	2	(10) 59
昭和31年	60	(7) 9	4	(1) 2	(1) 12	4	2	(9) 93

注 ( ) 死亡数

赤痢の細病別年次発生数

区分	細菌性赤痢	細菌性赤痢 (疫)	アメーバ症	保菌者	総数
昭和29年	169	17	7	44	237
昭和30年	24	5	1	16	46
昭和31年	29	1	—	30	60

年令別結核発生数



沓川交叉点

道路

昭32. 10. 1 現在

区分	種別	延長	内 訳			舗装延長	非舗装延長	全道路に対する舗装道路の比 (%)
			10m以上	9m~6m	5m以下			
国 道		26,290 m	14,460 m	11,830 m	— m	14,927 m	11,363 m	56.7
県 道		44,176	451	23,354	20,371	10,568	33,608	23.9
市 道		611,704	11,953	82,463	517,289	23,709	587,995	3.9
計		682,170	26,864	117,647	537,660	49,204	632,966	84.5

大分県土木事務所調

橋 梁

昭32. 10 現在

構造種別	市 道		県 道		国 道	
	数	総延長	数	総延長	数	総延長
木 橋	41	m 420	11	m 135.6	—	—
石積及びコンクリート	34	476	17	242.3	20	228.2
計	75	896	28	377.9	20	228.2

大分県土木事務所調

国鉄年別乗降客数

年別	乗客数				降客数			
	別府駅	東別府駅	亀川駅	計	別府駅	東別府駅	亀川駅	計
昭和31年	2,082,286	372,471	356,479	2,811,236	2,112,592	300,467	391,722	2,804,781
昭和30年	2,008,604	369,611	376,763	2,754,978	2,072,237	295,203	390,096	2,757,536

大分鉄道管理局調

貨物発着数

昭和31.4~32.3

区分 駅名	貨物				手小荷物			
	昭和31年度		一日平均		昭和31年度		一日平均	
	発送屯数	到着屯数	発送屯数	到着屯数	発送個数	到着個数	発送個数	到着個数
別府駅	25,664	58,490	70	160	62,890	191,050	172	522
東別府駅	744	401	2	1	6,479	5,240	18	14
亀川駅	3,243	4,909	9	13	8,877	28,526	24	78
計	29,651	63,800	81	174	78,246	224,816	214	614

大分鉄道管理局調

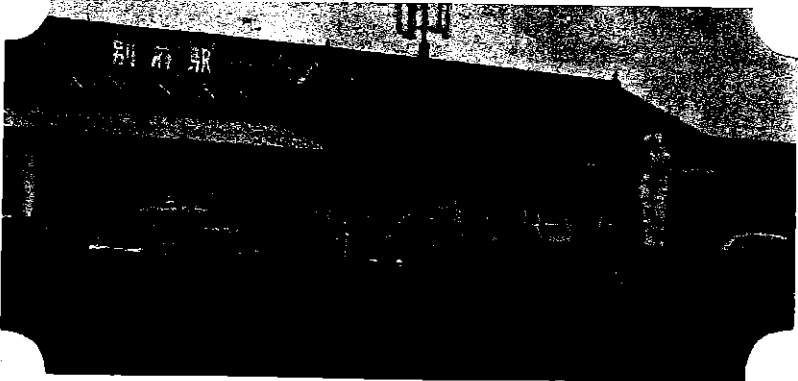
旅客、貨物取扱収入

旅客収入

貨物収入

駅名	旅客収入	貨物収入
亀川駅		
東別府駅		
別府駅		
合計		

億 千万 百万 十万 百万 千万



別府駅

船舶航路状況

昭和31.4 ~ 32.3

船別	航路名	期別	経営者	本航路の就航船舶		寄港地	寄港数	代表船		
				隻数	総屯数			船名	総屯数	
旅客船	阪神・別府線	1便	関西汽船KK	6隻	1,922.56	1便	別府・大分・高浜	日6回	るり丸	1,923屯
"	"	"	"	"	1,835.04	"	今治・神戸・大阪	日6回	こがね丸	1,835"
"	"	2便	"	"	1,838.14	2便	"	日6回	に志き丸	1,838"
"	"	"	"	"	1,047.16	"	別府・大分・高浜	日6回	さくら丸	1,047"
"	"	"	"	"	1,037.86	"	高松・神戸・大阪	日6回	あけぼの丸	1,037"
"	"	"	"	"	1,037.75	"	"	日6回	あかね丸	1,037"
"	呉・別府線	"	"	3隻	460.00	"	大分・別府・柳井 岩国・徳島・広島・呉	日7回	つるみ丸	460"
"	宇和島・別府線	甲便	"	5隻	455.00	甲便	別府・川之石 八幡浜・宇和島	日4回	あかつき丸	455"
"	"	乙便	"	"	400.00	乙便	別府・三崎・八幡浜・宇和島	日4回	ゆうなぎ丸	400"

(大分県別府土木事務所調)

入港船舶屯数階級別

昭和31.4 ~ 昭和32.3

種別	汽船		帆船		機帆船		帆船		計	
	隻数	総屯数	隻数	総屯数	隻数	総屯数	隻数	総屯数	隻数	総屯数
3,000屯未満	1,736	1,508,309	—	—	—	—	—	—	1,736	1,508,309
500屯未満	—	—	196	36,774	—	—	—	—	196	36,774
100屯未満	—	—	—	—	303	91,415	—	—	303	91,415
計	1,736	1,508,309	196	36,774	303	91,415	—	—	2,235	1,636,498

(大分県別府土木事務所調)

船名別乗客定員数

船名	定員			計	船名	定員			計
	1等	2等	3等			1等	2等	3等	
るり丸	46名	70名	825名	941名	さくら丸	12名	88名	529名	629名
こがね丸	43"	91"	837"	971"	あけぼの丸	18	77	503	588
に志き丸	32"	70"	856"	958"	あかね丸	14	86	483	583

(大分県別府土木事務所調)

航路別乗降人員

昭和31.4 ~ 32.3

航路別	乗込人員	上陸人員	計
別府 ~ 大阪線	238,798	190,020	428,818
別府 ~ 呉・広島線	29,269	31,430	60,699
別府 ~ 宇和島線	64,184	53,384	117,568
別府 ~ 宿毛線	85	12,265	12,350
計	332,336	287,099	619,435

(大分県別府土木事務所調)

諸車台数

(昭32.10.1 現在)

区分 種別	乗用車		小型	スクーター	トラツク	小型	特殊車	消防車	小型	計	
	バス	乗用車	乗用車	軽二輪車		三輪車			貨物車	単	重
官公庁用	16	3	2	14	23	15	16	14	2	8	113
自家用	63	—	41	943	146	537	29	—	47	162	1,980
営業用	48	93	100	—	66	20	2	—	1	11	341
総台数	127	96	143	957	235	572	47	14	50	181	2,422

(別府県税事務所調)

自転車及び荷車数

(昭32.10.1 現在)

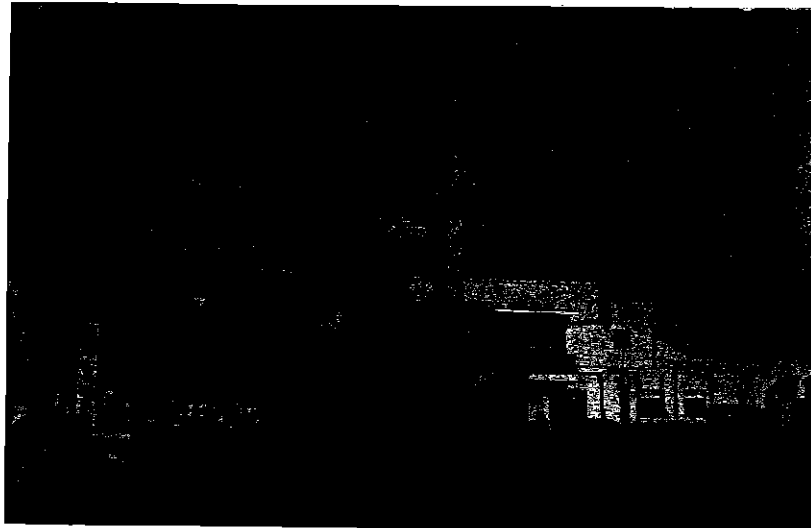
区分 種別	自転車							荷車			
	二輪車	三輪車	原付	動機種	原付	動機種	原付	動機種	荷小車	荷大車	荷牛馬車
台数	11,143	12	88	483	369	148	1,059	708	62		

軌道乗降人員

(昭31.4~32.3)

種別 区分	路線延長	車輛数			停車 場数	昭和31年度		一口平均	
		実働	予備	計		乗車人員	乗車料金	乗車人員	乗車料金
軌道	6,358(単線)	台	台	台	33ヶ所	人	円	人	円
別大線	12,640(複線)	24	13	37		12,385,173	153,136,495	33,932	425,032

(大分交通KK、亀の井バスKK調)



海岸通り別大電車

貸切バス

(昭32.10.1現在)

種別 大電 の井 バス	区分 交通 バス	総走行杆数	輸送人員	実在数	延実杆車数
		752,383杆	1,075,880人	48台	20,040台

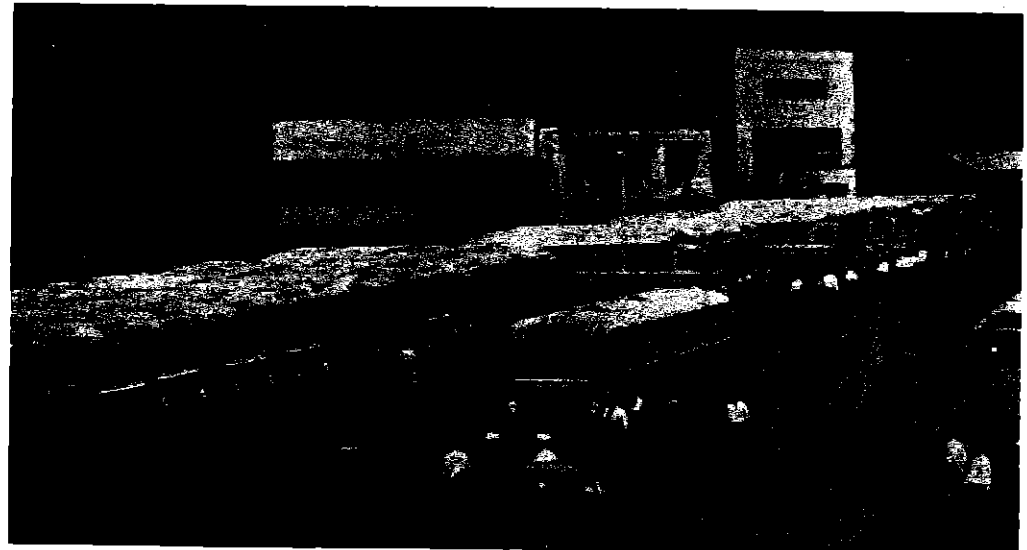
(大分交通KK、亀の井バスKK調)



温泉観光都市別府の輸送力

大分交通貸切バス

亀の井貸切バス

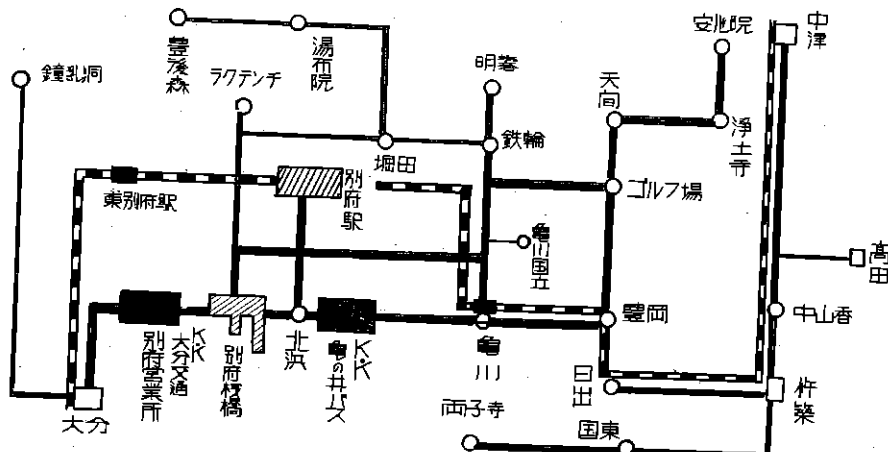


別府を中心とする交通網

昭32.10.1現在

線名	区分	区	間	片道 料程	所要 時間	1日運 行回数 (往復)	区分	区	間	片道 料程	所要 時間	1日運 行回数 (往復)
二豊線	別府営業所	中津駅前	67.2	2.55	5	地獄原伏線	別府駅前	別府駅前	20.3	2.30	10	
"	"	中山香	27.8	1.13	1	市内観光線	"	"	25.9	3.30	10	
別杵線	"	杵築市駅前	26.0	1.10	20	湯布院線	"	湯布院	25.4	1.20	13	
"	"	日出	13.2	0.35	4.5	観海寺線	"	観海寺	5.5	0.20	15	
両子巡り線	"	両子寺下	57.6	3.05	1	温研(上廻り)線	"	温研	5.3	0.20	6	
滝の口線	(高岡区由)	浄土寺	20.2	1.10	1	"(下廻り)線	"	"	5.1	0.20	38	
目刈線	(亀川庄由)	浄土寺	21.7	1.10	1	鉄輪線	"	鉄輪	8.2	0.30	57	
安心院線	(佐田庄由)	安心院	34.7	2.00	1	鍾乳洞線	"	別府駅前	115.6	7.00	1	
唐川線	(大船丸由)	全	36.6	2.20	1	堀田線	"	堀田	6.7	0.30	1	
鉄輪線	"	鉄輪	6.4	0.35	21	ゴルフ場線	"	ゴルフ場	16.3	1.05	2	
"	(別府駅前由)	"	6.8	0.35	8	石垣線	"	亀川病院	7.3	0.35	18	
"	"	春木	4.2	0.20	1	亀川病院線	"	"	7.0	0.25	15	
石垣線	"	亀川駅前	7.1	0.35	2	森町線	"	豊後森町	61.1	3.10	2	
棧橋線	棧橋前	別府駅前	0.9	0.04	2	ケーブル線	"	アープルオコナツチ	3.2	0.20	40	
別大線	別府駅前	大分駅前	13.1	0.35	19	安心院線	"	安心院	34.7	2.40	6	
"	北	大分駅前	12.6	0.33	38	湯山高原線	"	湯山高原	10.3	0.50	5	
国見線	別府営業所	伊美	77.7	3.45	1	東山線	別府駅前	合棚	15.2	1.10	2	
高別線	"	高田	47.0	2.05	1	阿南線	"	袖の木	20.9	1.35	6	
佐田線	"	安心院	33.2	2.00	1	小田、山下の池	"	小田、山下の池	38.1	1.10	2	
別府線	"	上恵良	49.9	3.15	1	天間線	"	天間	21.2	2.30	1	
困大線	"	岡東駅前	53.6	2.30	2	明亀線	鉄輪	明鑾	2.8	0.15	6	

(大分交通KK、亀の井バスKK調)



郵政施設数

昭32.10.1 現在

普通局	集配特定局	無集配特定局	郵便切手 元	収入印紙 所	ポスト
1	2	10			
				105	107 (私設3を含む)

(別府、亀川、鉄輪局調)



郵便物選別状況

年次別	昭31.4 ~ 32.3			
	引	受	配	
	普通	特殊	普通	特殊
昭和30年度	5,380,799 (1,024,661)	208,943	6,804,735 (1,027,755)	246,168
昭和31年度	5,734,124 (1,077,552)	246,819	6,928,271 (1,000,578)	222,201

(注) ( )は年賀郵便

(別府、亀川、鉄輪局調)

年別	昭31.4 ~ 32.3			
	引	受	配	
	普通	特殊	普通	特殊
昭和30年度	95,220	11,883	110,991	12,314
昭和31年度	93,815	11,826	108,709	12,241

(別府、亀川、鉄輪局調)

年別	昭31.4 ~ 32.3			
	引	受	配	
	普通	特殊	普通	特殊
昭和30年度	63,380	19,542	88,780	43,459
昭和31年度	62,711	20,996	88,661	42,285

(別府、亀川、鉄輪局調)

電報取扱所数

年別	区分	直営局	委託取扱所	サービスステーション	簡易委託受付所
昭和30年度		3	8	2	36
昭和31年度		3	10	2	46

(別府電報局調)

電報取扱数

年別	区分	発信		着信		中継		計	
		内	外	内	外	内	外	内	外
昭和30年度		143,707	631	130,720	444	32,803	981	307,230	2,058
昭和31年度		141,773	259	128,628	186	55,431	406	325,832	851

(別府電報局調)



電話局内部

電話加入者及電話数

年別	区分	加入者数	電話機数	公衆電話	火災報知	警察電話
昭和30年度		4,688	6,993	67	1	1
昭和31年度		5,049	7,726	70	1	1

(別府電話局調)

電話通話数

年別	区分	電話回線路		市外通話度数		
		市内	市外	発信	中継	着信
昭和30年度		4,695	89	1,235,971	44,764	602,139
昭和31年度		5,053	90	1,350,308	50,012	692,084

(別府電話局調)



市営不老温泉

温泉

別府温泉の起源は、遠く神代にありと云われ、伊予風土記に少彦名命が大分、速見の湯を汲んで大己貴命に浴せしめて、その病を癒したとあり、その後聖徳天皇の御代に日子三依が別府に温泉を開いて薬師堂を建てたと伝えられている。

現在別府市は世界公園と称へられる瀬戸内海に連なる温泉郷で、泉質の多様多種と泉量の豊富なることは確し世界第一と云はれている。天与の温泉と景趣さまさまな自然美に恵まれている上に、幾多の近代的施設が完備し更に理想的な温泉界の療養地であり、別府温泉こそ平和の復興に寄与せんとする国民の健康と資源、体力増進のオアシスであり明日への飛躍に備へるよき休養地である。この豊富なる温泉を有する別府はその良き風光と共に世界の観光地として将来の発展を約束されている。



展望温泉

温泉数

昭32.10.1 現在

年 度 末 現 在				本 年 度 増 掘 掘 ざ く 願		
公共浴場	自家用浴場	停 止	計	公共浴場	自家用浴場	計
800	720	1,019	2,539	43	70	113

地区別温泉数

昭32.10.1 現在

旧 市 内	亀 川	朝 日	石 垣	南 立 石	計
1,280	498	75	81	152	2,086

噴気孔数

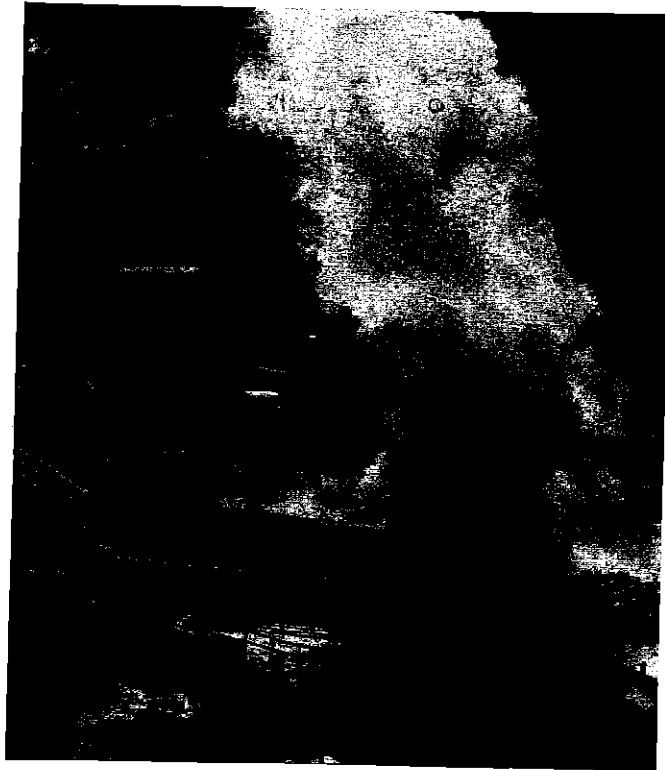
昭32.10.1 現在

亀 川	石 垣・南 立 石	朝 日	計
70	273	110	453

温泉工事費

(昭31.4~32.3)

工 事 名	泉源工事費	給湯工事費	維持改良費	維持修繕費	新営改築費	計
工 事 金	758,500	536,100	351,300	586,973	18,328,081	20,560,954

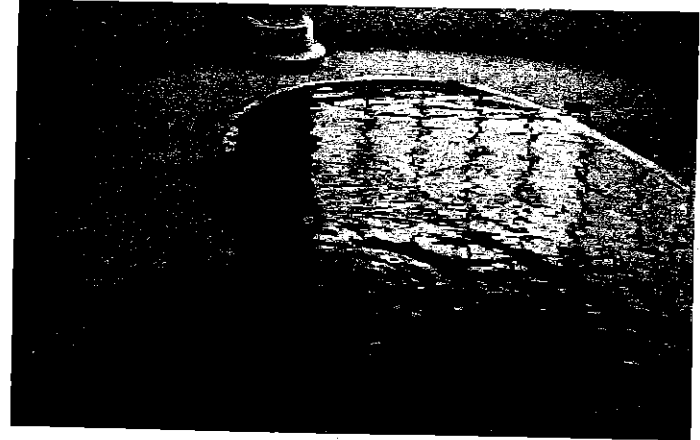


泉源池 (市有・十万里地獄)

市営温泉入浴者数

昭31.4~32.3

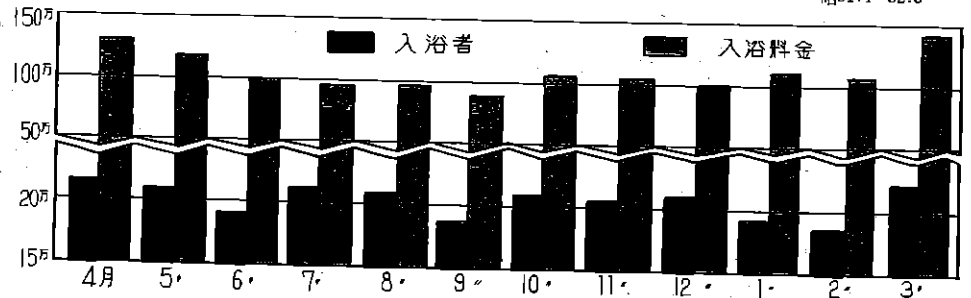
温 泉 名	一日平均入浴者数	一 年 間 入 浴 者 数	温 泉 名	一日平均入浴者数	一 年 間 入 浴 者 数
竹 瓦 温 泉	579	211,478	海 門 寺 温 泉	441	160,922
雪 湖 泉 蒸 湯	50	18,035	海 亀 陽 泉	317	115,669
柳 石 温 泉	233	85,048	東 亀 陽 泉	64	23,106
永 浜 石 温 泉	600	218,839	浜 田 温 泉	164	59,946
浜 脇 脇 温 泉	1,515	553,054	鉄 輪 蒸 湯	108	39,487
浜 脇 高 等 温 泉	924	337,187	天 然 砂 湯	18	6,667
鍋 温 泉	793	289,303	田 ノ 湯 温 泉	638	232,598
不 老 泉	164	60,919	計		2,412,258



市営不老泉大浴場

市営有料温泉月別入浴者及び料金

昭31.4~32.3



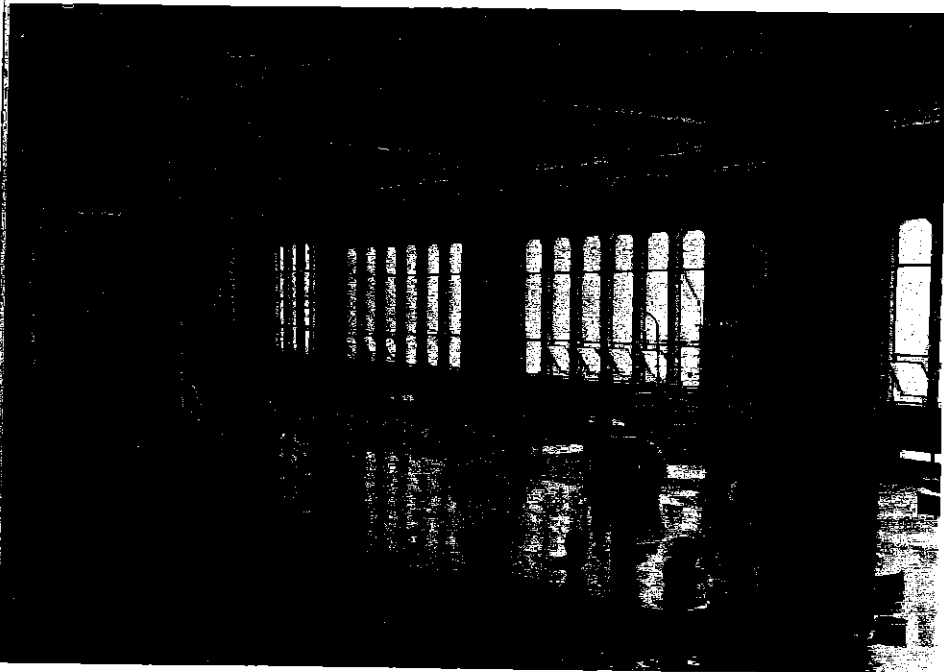
市営有料年別入浴者及び料金

年 度 別	温 泉 数	入 浴 者	入 浴 料 金
昭 和 30 年 度	15	2,531,623 人	13,385,648 円
昭 和 31 年 度	15	2,433,108 人	12,808,673 円

## 別府温泉

別府温泉郡の中心で街は殆ど湯の上に浮いていると云うべく、市営、区営、部落経営、共同浴場合せて八十箇所に余り、旅館その他にある内湯の数は千を以て数える程である。泉質は硫黄泉、鉄泉、アルカリ泉、土類泉、食塩泉、単純泉、炭酸泉、酸性泉、で世界薬剤学会の認定した十一種類中八種を占め、之等の温泉は九州大学温泉治療学研究所、鉄道療養所、大会社大工場其の他の経営する療養所、病院、保養所、国立病院、市内数百の旅館、貸間、商店、一般家庭の湯壺に溢れている。湧出口四千余、一昼夜の湧出量四十万石に及ぶと推定され、保健と療養方面に大きな役割を演じ、治療上の効能はあらゆる方面に及んでいる。その中主な市営、共同浴場は次の通りである。不老泉、霊潮泉、楠温泉、竹瓦温泉、田の湯温泉、永石温泉、柳温泉、錦温泉、海門寺温泉、天然砂湯、霊潮泉蒸湯等がある。

交通 関西汽船日豊本線別府駅下車附近一帯  
 泉質効能 多種多様、炭酸鉄泉、単純泉、単純炭酸泉、弱食塩泉、泉温45°~68°  
 特色 保養並に慰安向

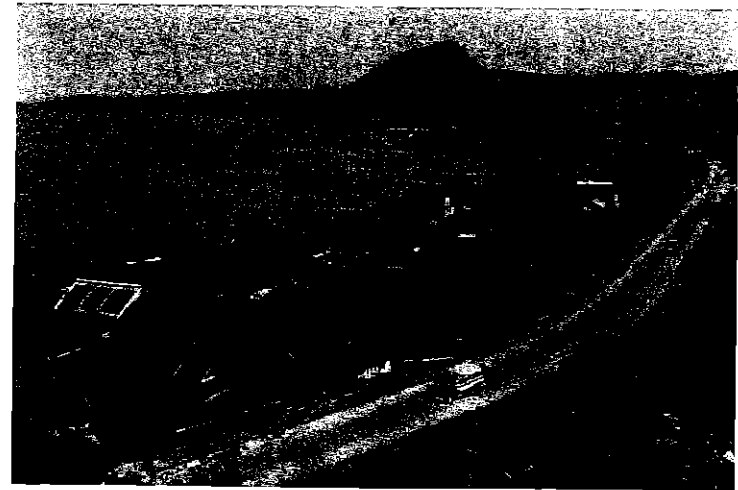


国立別府病院温泉治療棟大浴場

## 亀川温泉

別府温泉郷の北の門戸をなし旧別府と同じく海辺の温泉場で亀陽泉、東亀陽泉、四ノ湯、浜田ノ湯、筋湯温泉などがあり繁華を一郭をなしている。

交通 日豊本線亀川駅下車附近一帯  
 泉質効能 弱食塩泉、含食塩酸性、緑礬泉、泉温53°-76°、リュウマチス、婦人病、胃腸病、外傷  
 特色 保養並に療養向



亀川温泉場

## 明礬温泉

鶴見岳の北脈明礬山の東腹にあり、海拔約400米の高燥の地で溪流あり、瀑布あり、また温泉の湧出もあり、海山の眺望がよい、紅葉の頃は最も優れた景趣を現わすのである。

交通 別府駅から西北10軒亀川駅から7軒バスの便あり  
 泉質効能 酸性明礬緑礬泉、泉温52°-91°性病、皮膚病、胃腸病、婦人病（飲用）慢性胃腸、下痢等  
 特色 療養向

## 柴石温泉

鶴見岳北麓の谿間にあり、風致に富んでいる。温泉は巖石の隙から湧出し、泉となり滝となつている。

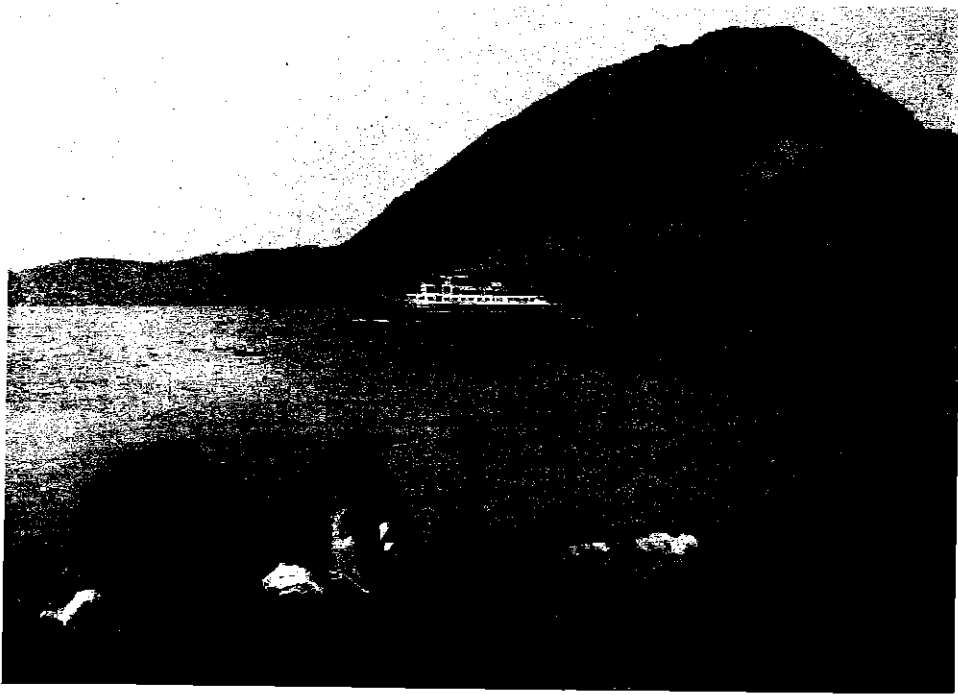
交通 亀川駅から西二軒、バスの便あり  
 泉質効能 含鉄芒硝泉、泉温56°神経痛、皮膚病、リュウマチ、貧血性諸症、便秘等  
 特色 療養向

## 鉄輪温泉

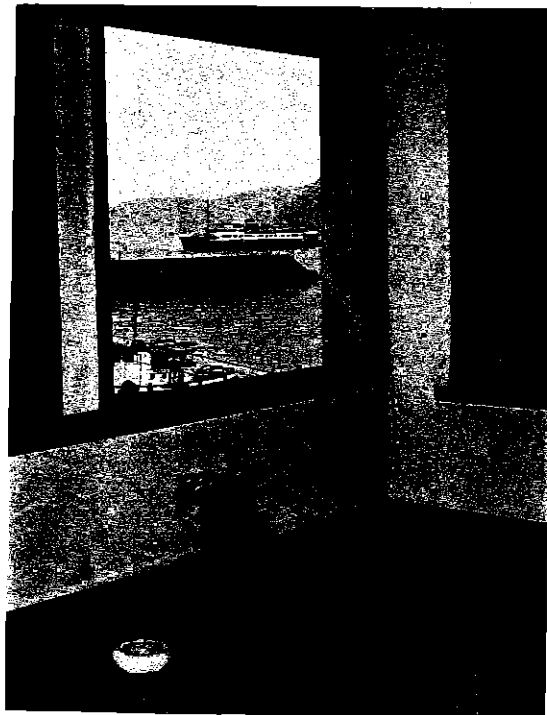
別府西北に位し鶴見嶽の前山である扇山の東北にある。東に別府湾を眺め西に由布、鶴見の連山負い南に鎌山がある。土地高燥、海山の眺望がよく温泉の豊富なことは別府温泉に劣らない。

交通 亀川駅から西南四軒、別府から西北六軒、柴石から南八百米バスの便あり。  
 泉質効能 炭酸鉄泉、単純温泉、酸性緑礬泉、泉温52°-89°皮膚病、下腹充血、貧血、水銀中毒、胃腸病、性病、消化不良、婦人病





市営温泉天然砂湯



天然砂湯階上休憩室より  
眺めた別府湾



温泉熱利用バナナ園

## 濱 脇 温 泉

浜脇は朝見川の流を界にした市内の南部にあり、特異の雰囲気有する温泉場で南方に兜型の頭を見せる自然動物園高崎山が見える。

交 通 東別府駅下車附近一帯  
泉質効能 弱食塩泉、硫黄泉、泉温50°リュマチス、神経痛、病後恢復期等  
特 色 保養向、並に慰安向

## 堀 田 温 泉

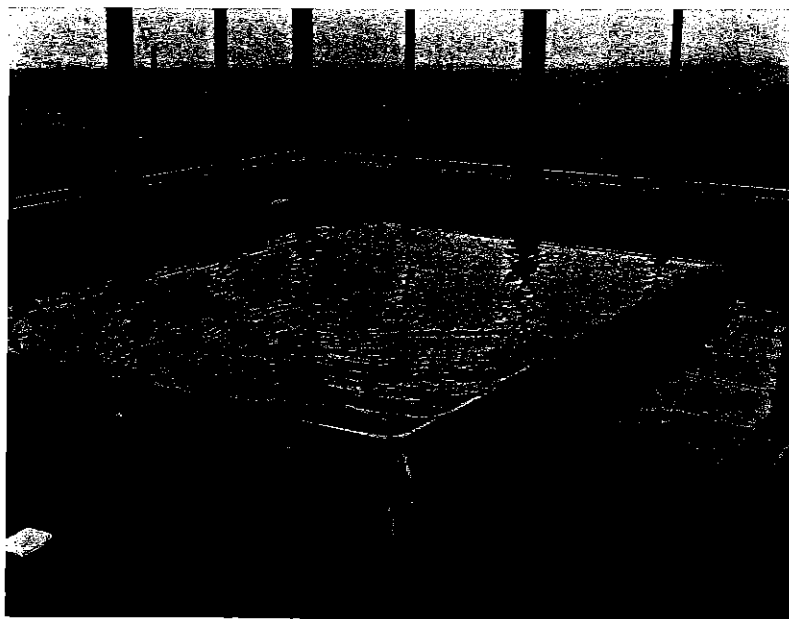
鶴見ヶ丘の東麓にあり、三方岳巒に囲まれ前面遙かに海光を望み、野趣豊かな温泉場で、また堀田地獄がありこの噴気孔を利用し水を注入し各地に引湯浴泉の便を計っている。

交 通 別府駅から西北6軒、バスの便あり、観海寺温泉の西北2軒  
泉質効能 単純炭酸泉、泉温80°皮膚病、胃腸病、婦人病、リュウマチス等

## 観 海 寺 温 泉

観海寺山の中腹にあり、後に鶴見岳を負うて高燥な崖上に、一の温泉郷を成している。前面には石垣原を見越して別府湾を見下し、伊予の連山も雲烟濛濛の間に望まれる。展望の勝別府諸温泉中の自慢とされている。

交 通 別府駅から西約3軒バスの便あり。  
泉質効能 単純温泉、泉温56°胃腸病、リュウマチス、神経痛、婦人病、貧血症等  
特 色 保養並に療養向



観海寺温泉展望浴場



別府市は昭和25年7月18日別府国際観光温泉文化都市建設法(別府法)の制定以来、従来の都市計画に再検討を加え、終戦后著しく増加した人口に対処し併せて将来益々増加を予想せられる観光客の受入態勢確立の一環として、本市の二大特性たる観光、温泉資源の開発に重点を指向した国際泉都の建設を目標とする総合的建設計画を街路公園、港湾、上水道、下水道、土地区画整理並びに用途地域等諸般に亘って策定し又、その一部を具体化する建設事業も建設計画と同時に法定決定(昭和27年3月31日附)をなし目下着々実施中である。

## 都 市 建 設 計 画

### 都市計画区域

別府市計画区域は昭和10年3月決定され107,90平方軒が都市計画区域となっている。

### 市街地区域

市街地区域は主として地獄廻遊道路海岸線に至る面積約15平方軒の区域とする。

### 街路計画

街路建設計画は昭和27年3月告示され、既定の別府都市計画街路は同時に廃止された。決定路線総数は32路線で一般路線25路線、公園道路4路線、緑道3路線である。

## 港 灣 計 画

別府市の経済はその大半を観光収入に依存する点に鑑みて観客の受入態勢を確立するための海の玄関たる港湾の整備を喫緊とするので別府国際観光港修築計画を本市の総合計画の一環として決定昭和27年7月3日告示された。

別府国際観光温泉文化都市建設計画決定港湾一覧表

番 号	名 称	種 別	位 置	面 積 平方メートル	幅 員 メートル	延 長 メートル
第 1 号	別府国際観光港	北突堤	別府市大字南石垣字八反坪地先海面	6,500	52	北側150 南側100
		南突堤	別府市大字南石垣字小平田地先海面	1,560	26	60
		南防波堤	"	—	—	50
		東防波堤	"	—	—	250
		北突堤屋上	"	6,100	—	—
		南突堤屋上	"	1,200	—	—
		埋立面積	"	47,000	—	—

国際観光港 (1万トン級寄港)



## 公 園 計 画

公園建設計画は従前の別府都市計画公園を廃止し市街地区域を中心とする一帯に亘り地形、修景、誘致距離等も勘案して地域の特殊性及び利用目的に応じて公園の性格を定め13公園を配置するものとする。

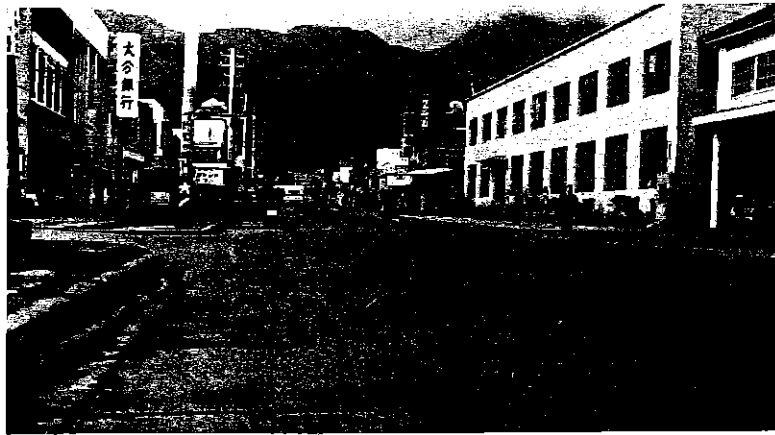
別府国際観光温泉文化都市建設計画決定公園一覧表

番 号	名 称	位 置	地 積 ヘクタール	摘 要
第 1 号	浜 脇 公 園	別府市大字別府地内	約 8.7	
第 2 号	海 門 寺 公 園	" "	" 0.4	
第 3 号	別 府 公 園	" "	" 14.2	
第 4 号	乙 原 公 園	" "	" 47.6	
第 5 号	緑 ヶ 丘 公 園	" "	" 8.8	
第 6 号	南 立 石 公 園	" "	" 20.4	
第 7 号	実相寺中央公園	" "	" 109.9	
第 8 号	上 人 ヶ 浜 公 園	" "	" 22.8	
第 9 号	鉄輪地獄地帯公園	" "	" 125.8	
第 10 号	亀 川 公 園	" "	" 26.8	
第 11 号	温 水 公 園	" "	" 5.4	
第 12 号	松 原 公 園	" "	" 0.37	
第 13 号	山 田 児 童 公 園	" "	" 0.16	

## 用 途 地 域

用途地域指定一覧表

地域名	商 業 地 域	住 居 地 域	準 工 場 地 域	住 居 専 用 地 域
区 分				
面 積 (ヘクタール)	291.89	751.72	21.76	205.37
比 率 (%)	23	59	2	16



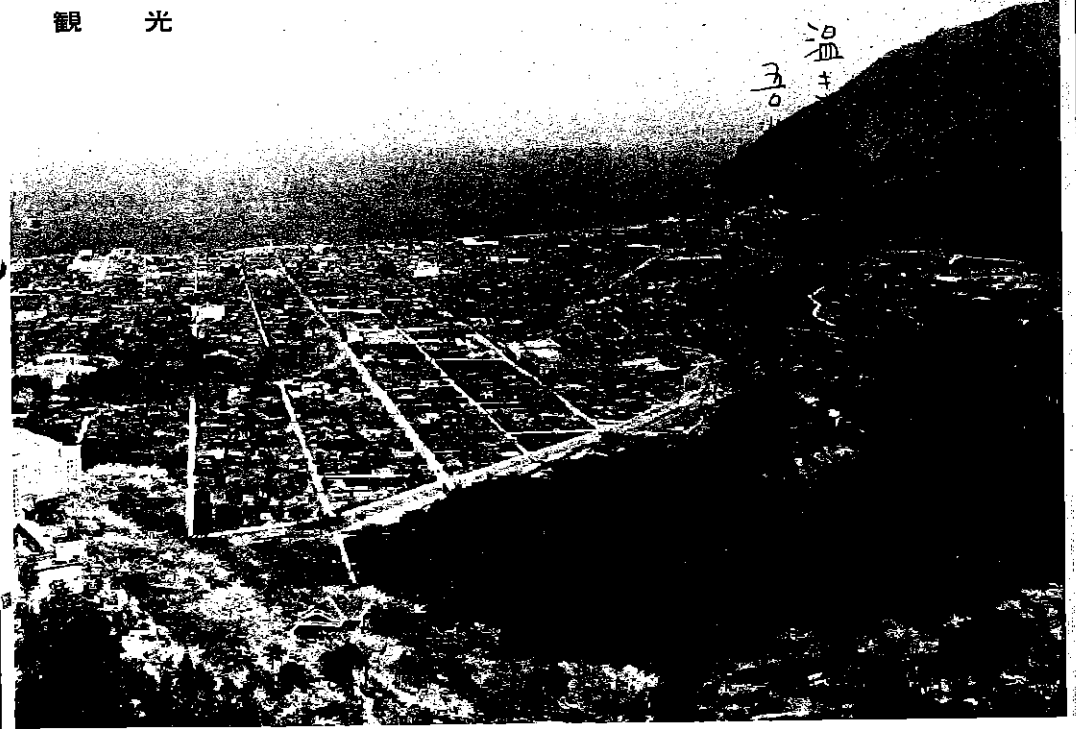
従来の軌道を撤去昭和32年3月改装した幅員22mの駅前通り



昭和32年9月末補装工事完了の海門寺公園



総工費約200万円を投じて改装をした松原公園



### 別府への交通路

陸路は日豊本線、本上直行の急行に依り北は東京、京都、大阪、小倉、門司、福岡方面に南は河崎、鹿児島方面に西は豊肥線及び久大本線に依り阿蘇、熊本、久留米、佐賀方面に連絡している。

海路は関西汽船の大阪、別府航路が毎日二回往復し又呉、広島への中函線、八幡浜宇和島の四国線の航路がある。

### 別府への交通運賃

関西汽船		鉄 道	
大阪、神戸	1,050円	東京行急行（急行料含む）	
高 松	820円	東 京	2,180円
今 治	600円	博 多	430円
豊、広島	670円	小 倉	290円
宇 和 島	600円	宮 崎	420円
宇 留 島	450円	熊 本	380円
八 幡 浜	370円	日 出	250円
		大 阪	1,550円
		門 司	300円
		広 島	670円
		鹿 児 島	680円
		久 留 米	370円
		長 崎	600円



陸の玄関

別府駅前の人像



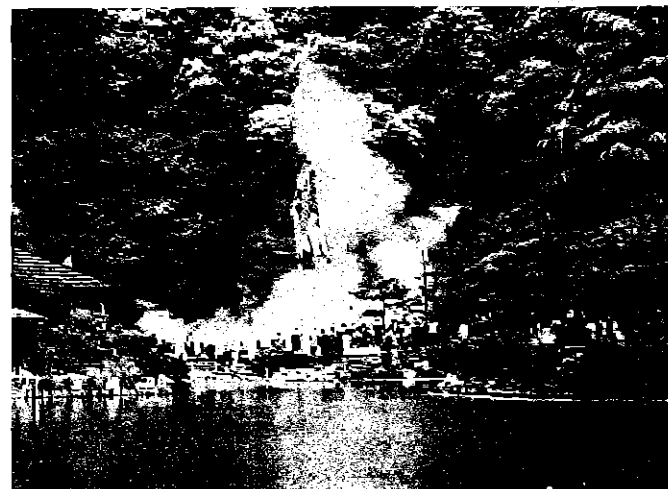
海の玄関

棧橋、関汽の出航

## 観 光 遊 覧

### ◎ 地 獄 めぐり

(十四地獄) 雷圖地獄、十万地獄、血の池地獄、龍巻地獄、海地獄、鶴見地獄、鬼山鱒地獄、カマド地獄、金龍地獄、白池地獄、山地獄、鬼石坊主地獄、間湯地獄、坊主地獄

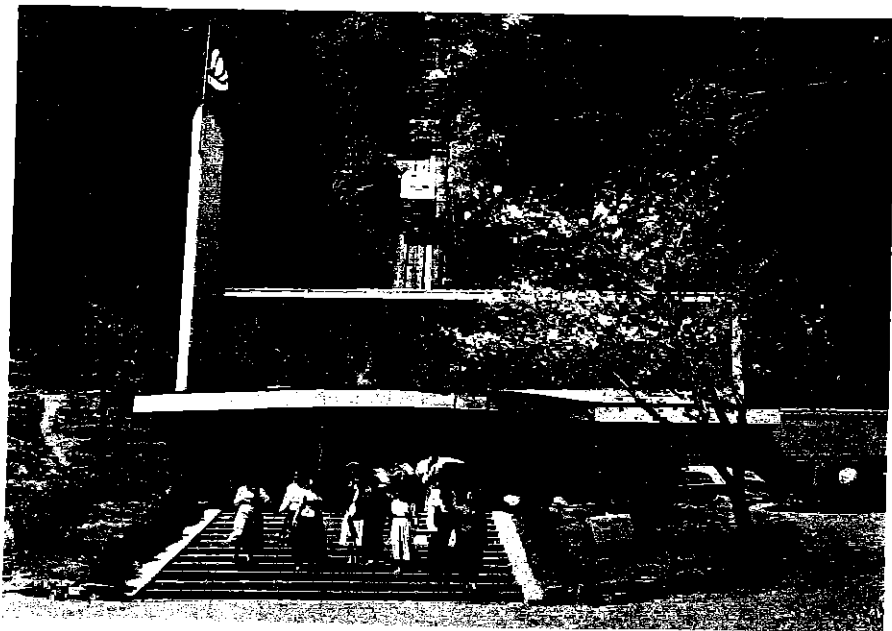


海地獄



血の池地獄

◎ ケーブル楽天地



海拔200mの高台、車中よりの別府市街、海の眺望雄大な西日本唯一のケーブル。



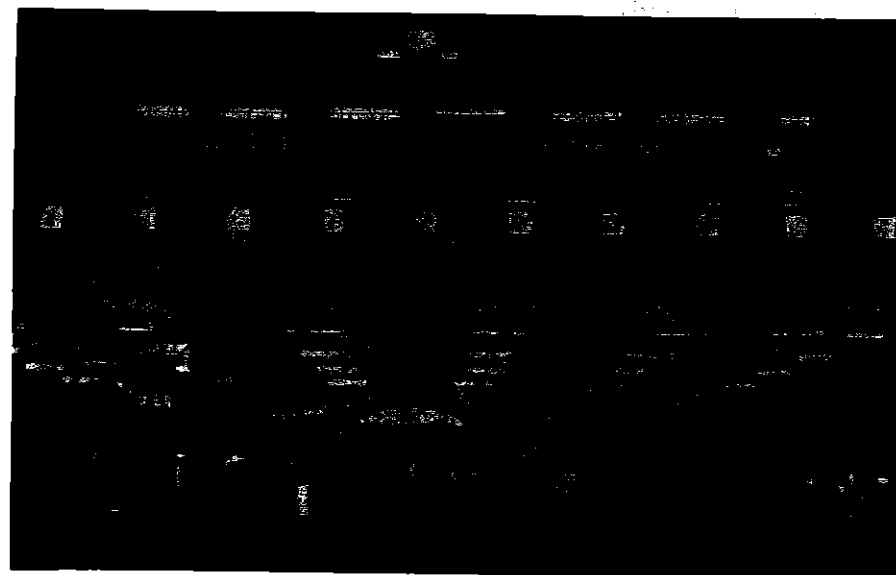
地上三階、地下三階のラクテンチ大ホール

◎ テレビ塔



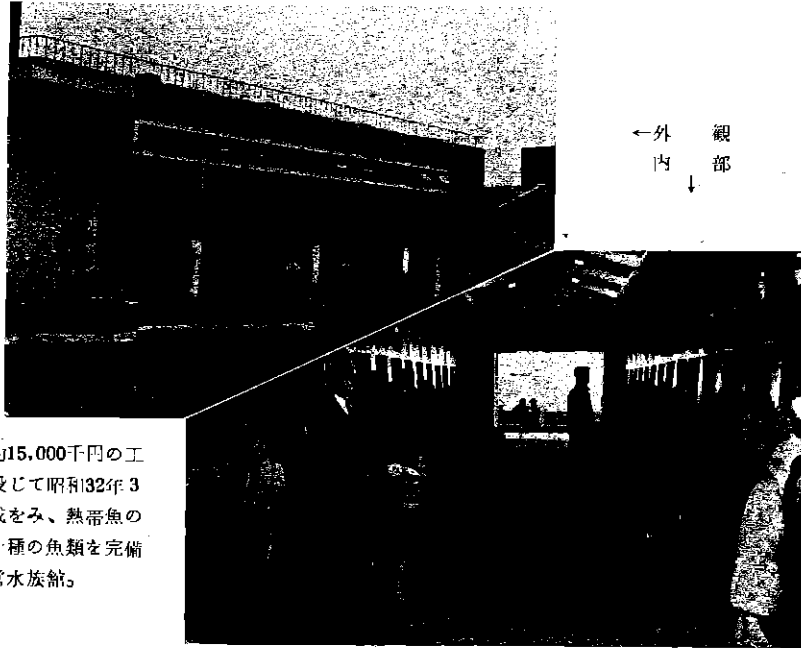
地上100m、ビル四階に連結された日本一の美観を有つ展望用テレビ塔、

ビル屋上に登え立つ夢の展望台よりは観海寺温泉一帯等々全々を限りなく眼下に収め正に居ながらにして観光100%の天園である。



テレビ塔正面入口

● 水族館



市が約15,000千円の工  
事費を投じて昭和32年3  
月末完成をみ、熱帯魚の  
他に数十種の魚類を完備  
した市営水族館。

● 高 崎 山 (自然動物園)



標高628m 別府  
湾頭に聳ゆるか  
ぶと型の雷峰で  
大別府を象徴す  
る代表的名山に  
して史蹟又豊富  
である。

別府を中心とした日帰り観光コース

- 風 連 鐘 乳 洞  
行 程 約120軒  
バス所要時間 約7時間
- 深 田 の 石 仏  
行 程 約120軒  
バス所要時間 約7時間
- 湯 布 院 温 泉  
バス所要時間 約1時間半  
バス料金 100円

湯布院温泉の朝霧

海拔480m、別府の奥の院と称された九州の軽井沢として絶好の避暑地である。



○耶馬溪めぐり



↓ 耶馬溪錦雲峽

春の新緑、秋の紅葉  
四季折々の花と樹とそ  
れに清らかな水のなが  
れが、岩山に一段の風  
情を添えてこのあたり  
類いなき溪谷美をくり  
ひろげている。

↑ 青の洞門

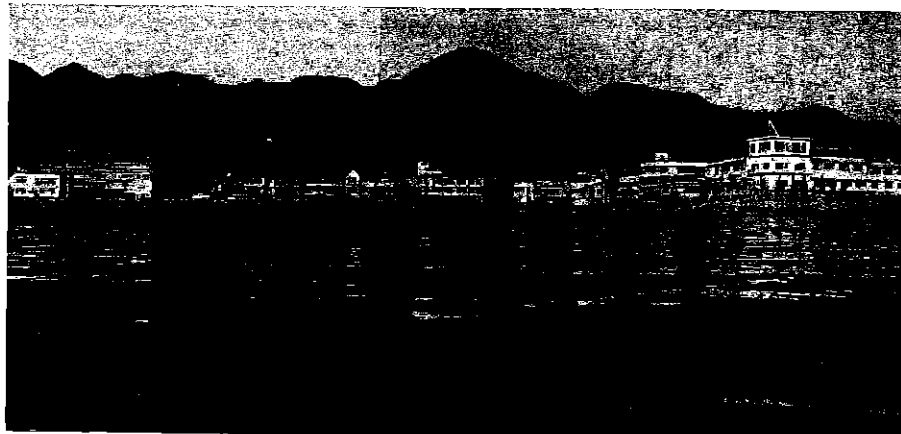
僧禅海が衆生済度の  
思い止み難く嘗々30年  
遂にその一念を貫いて  
完成した青の洞門……  
菊池寛の出世作「恩  
誓の彼方へ」へのテー  
マが此地に取材された  
ことはあまりにも有名  
である。



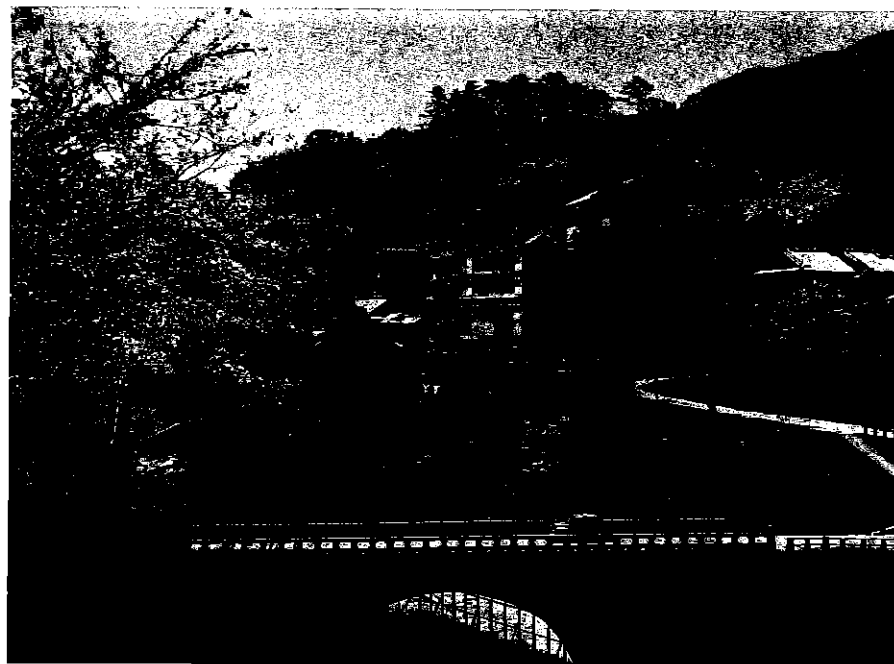
(大分交通提供)

旅 館

海岸通り旅館群



観海寺温泉場旅館



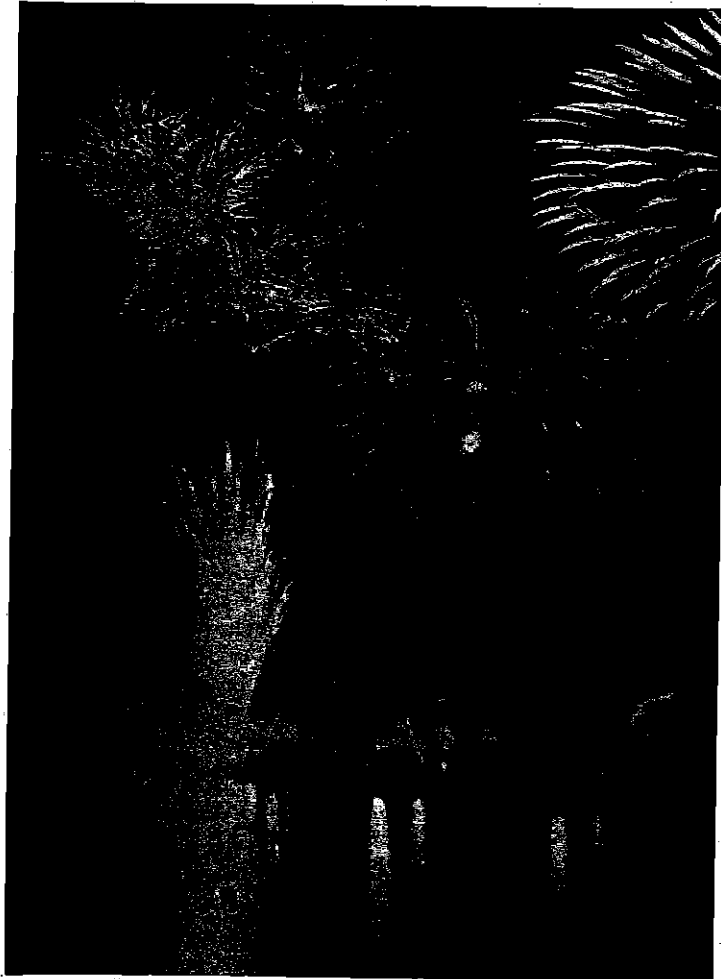


# 観光年中行事

温泉まつり  
夏まつり  
花火大会  
音頭大会

4月1日より5日まで  
7月下旬  
8月上旬  
8月上旬  
10月初旬3日間

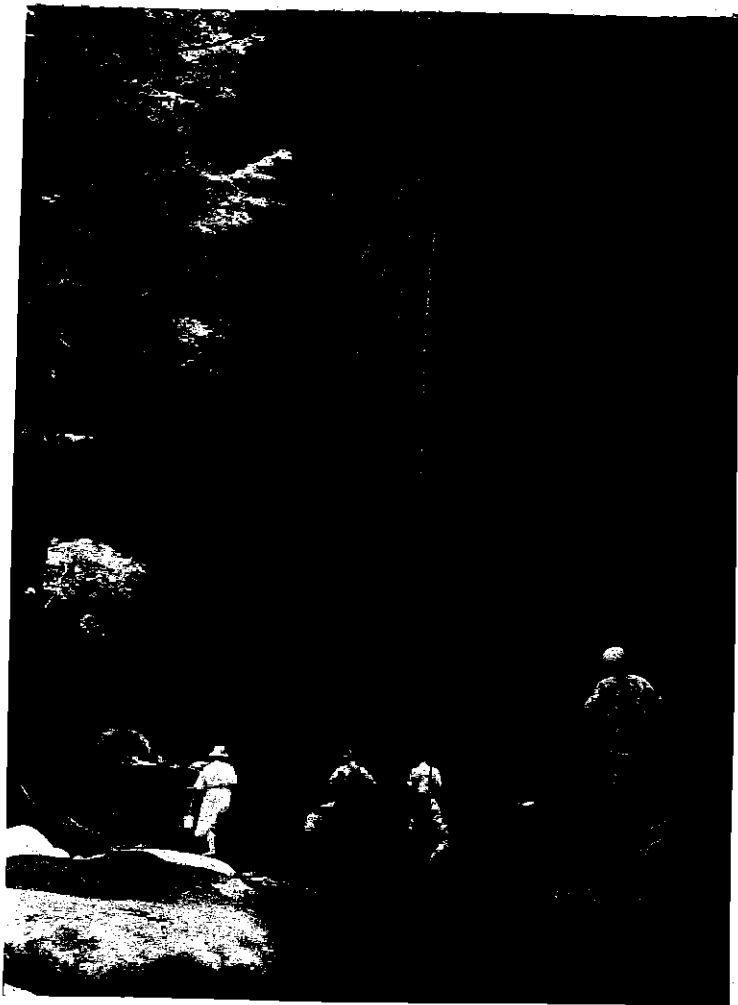
八月の夜空を彩る  
納涼花火大会



←夏の泉部を賑う  
音頭大会

温泉まつり  
↓地獄の鬼も浮かれ出る





### 奥 別 府

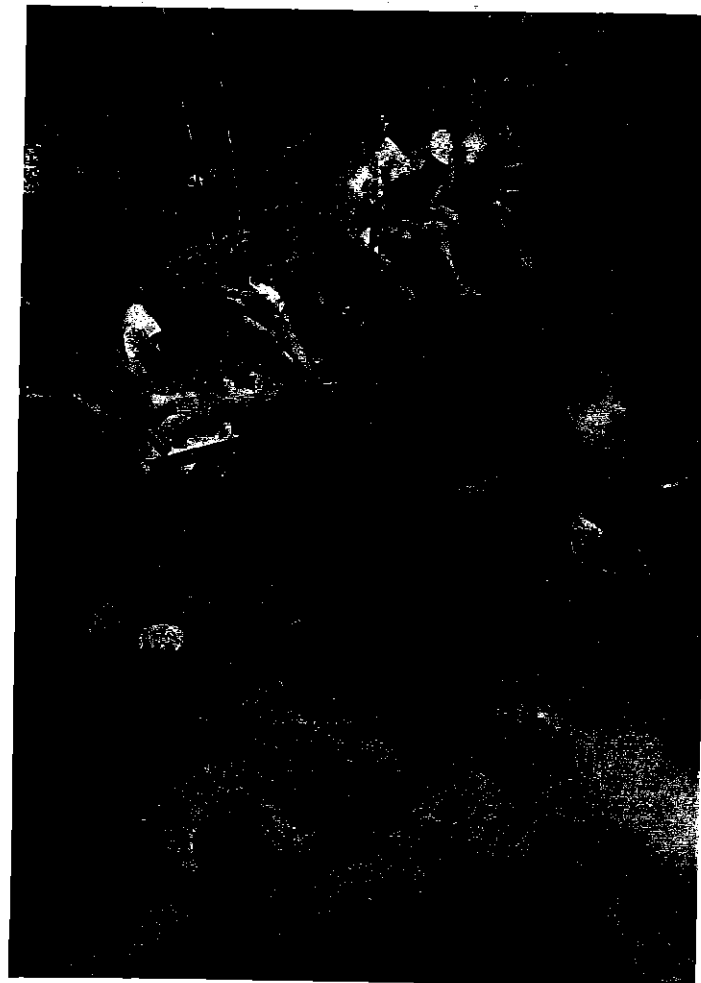
#### 由 布 川 峽 谷

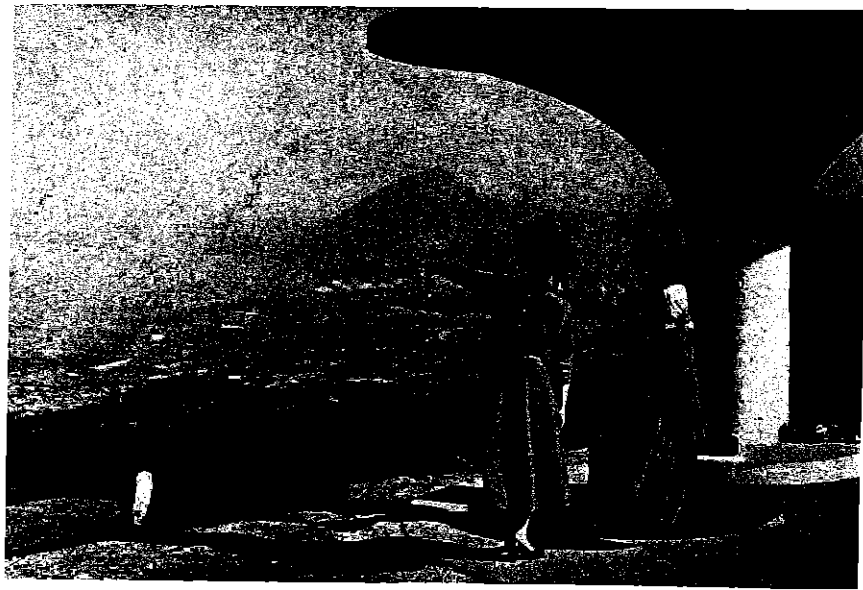
大分県50勝の一つで幼年期の峡谷は黒部の箱図と称され両壁の屹立、清烈な流れは本峡谷の特長である冬季オンドリの群生は有名である。

### 柴 石 溪 流

流るゝ靈泉に身を浸せば滾々たる溪流の音は蟬の啼声を和し、さながら人外境にあるを覚ゆる。

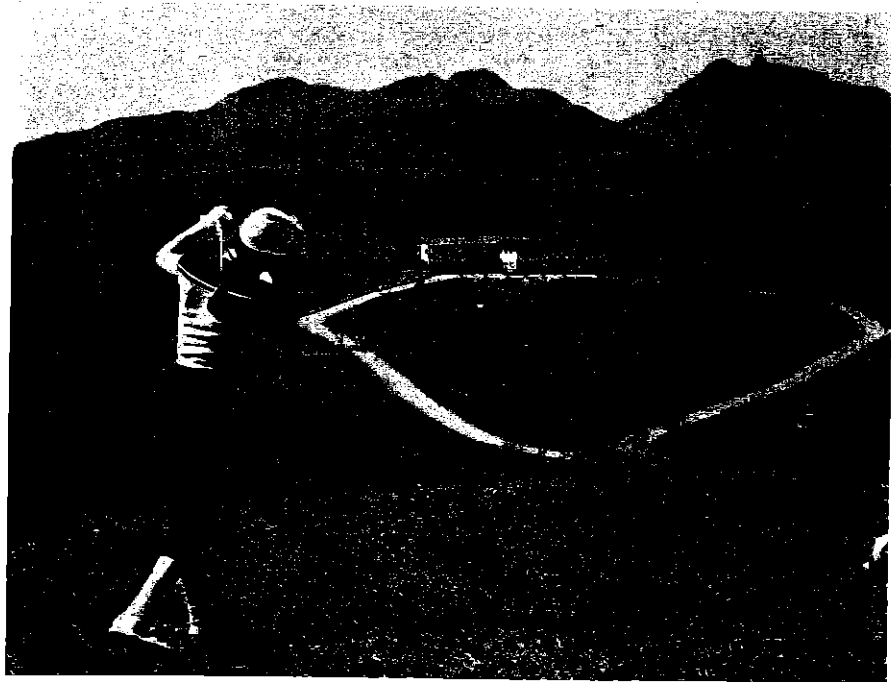
春の桜、秋の紅葉も亦一入美しい眺めである。





↑ 別府の大展望台とも云われる広大な草原美の十字字原

クラブさばきも鮮かに九州一の別府ゴルフ場 ↓

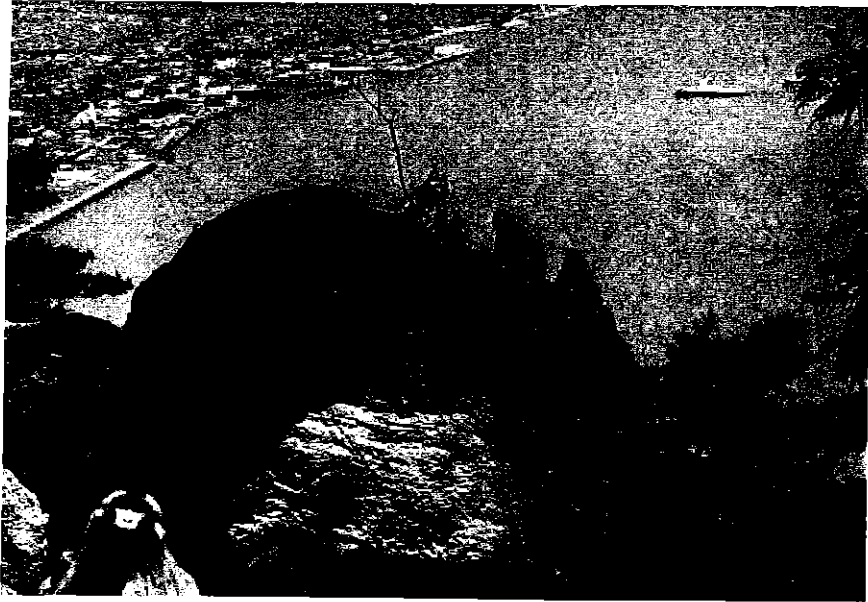


霊峰、由布を目のあたりにみる城島高原

キャンプ場

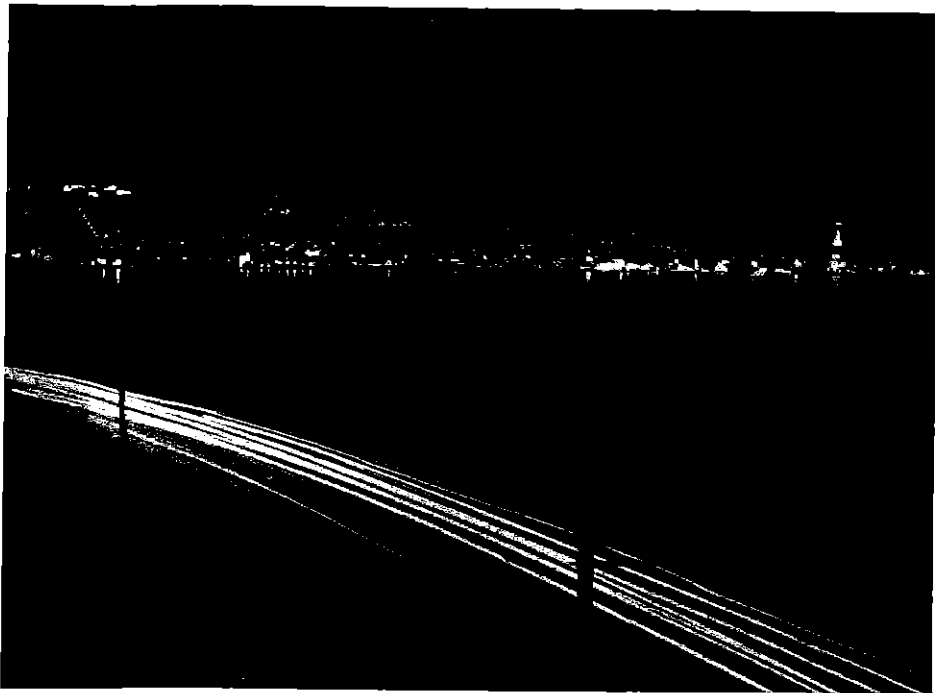
由布、鶴見の連峰を湖面に浮べる志高湖





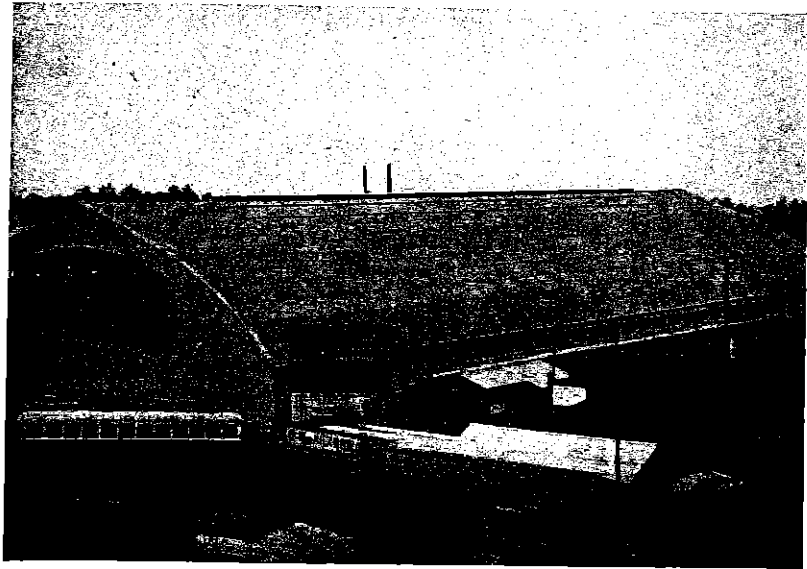
高崎山自然動物園より別府市遠望 ↑

↓ ネオンにきらめく泉都別府の夜景

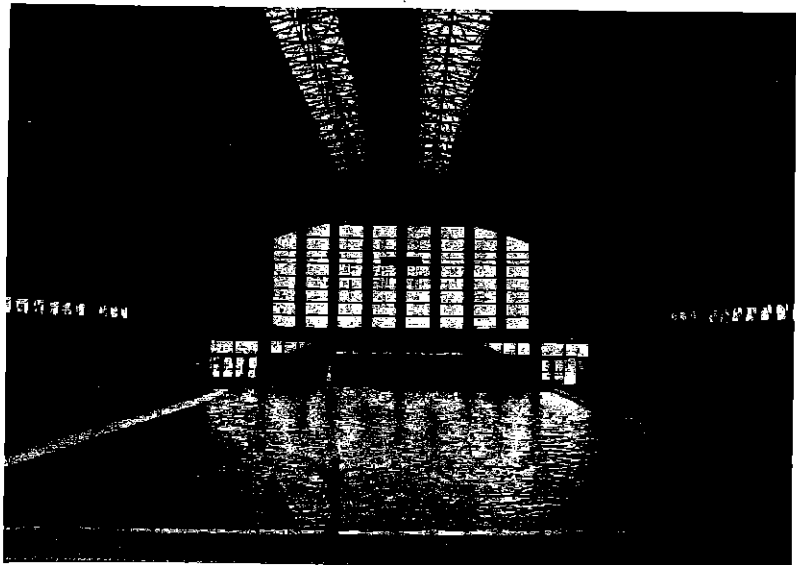


別府の繁華街 夜の銀座

市 営 温 泉 プ ー ル



← 外 観



→ 内 部

昭和32年版 別 府 市 勢 要 覧

編 集 別 府 市 長 室 企 画 調 査 係  
 昭 和 32 年 11 月 1 日 印 刷  
 昭 和 32 年 12 月 1 日 発 行  
 (非売品) 印 刷 株 式 森 澤 商 店 会 社